

京都市自転車総合計画 2025

発表者：京都市建設局自転車政策推進室



コンセプト

「自転車共生都市・京都」の実現 ～自転車をつながる、ひと・まち・暮らし～

<安心・安全>

自転車のルール、マナーを学び、守り合い、道路を正しく使い合うことにより、安心して心地よく行き交えるまち

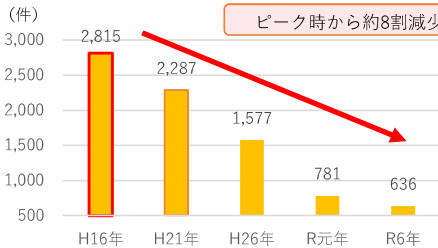
<豊かな生活>

利便性・機動性に優れ、健康的で環境にもやさしく、歴史や文化、自然を肌で感じることができる自転車を生かし、生活の質を高め合うことができるまち

施策の成果

自転車政策を総合的に推進した結果、自転車事故の減少など大きな成果を上げてきた。

＜京都市における自転車事故件数の推移＞



現在、青切符の導入などの環境の変化や課題を踏まえて、計画改定を検討中

京都市サイクルサイトでは、京都市の自転車政策や自転車ルール・マナーを掲載しています！



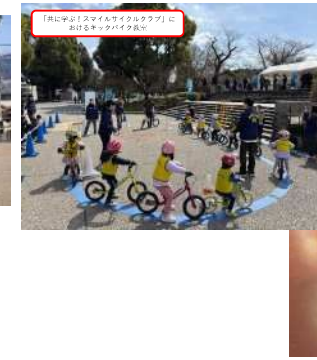
主な推進施策

柱1 「ひと」との共生 ～ルール、マナーを学び・守り合う～

➤ 大宮交通公園（サイクルセンター）を活用したライフステージ別自転車安全教室



➤ 自転車の安全な乗り方などを学べるイベント

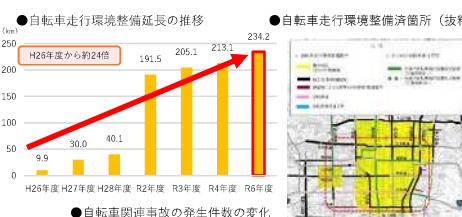


➤ 自転車用ヘルメットの購入費補助



柱2 「まち」での共生 ～道路を正しく使い合う～

➤ 自転車走行環境の整備



➤ 駐輪場の整備

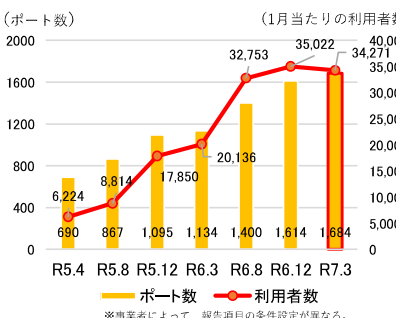


➤ 放置自転車対策の推進



柱3 「暮らし」での共生 ～生活の質を高め合う～

➤ 公共交通を補完するシェアサイクルの推進



➤ サポートステーションの設置



➤ 京都市レンタサイクル事業者認定制度



保険の加入や、利用者へのルールの周知啓発の実施等、一定の要件を満たす事業者を京都市が「レンタサイクル認定事業者」として認定

自転車社会学の創出に向けて

大東文化大学 社会学部 社会学研究所
自転車とツーリズム・まちづくり研究会
野嶋剛・疋田智・塚本正文・阿部英之助・鶴田佳史・飯塚裕介

大東文化大学 自転車とツーリズム・まちづくり研究会について

大東文化大学社会学部・社会学研究所は研究チームとして教員有志と外部有識者による「自転車とツーリズム・まちづくり研究会」を2022年に開設しました。

今、私たちの社会にとって、東日本大震災そして新型コロナウイルスの流行という苦しい局面を経て、自転車はぐっと身近で大切な存在になりました。省エネルギー、脱炭素、健康、運動、防災、観光、都市計画、SGDsなど多くの現代社会の課題の解決に向けて、自転車の活用によって大きなブレークスルーを実現できる可能性が見えています。

私たち社会学部は、さまざまな社会問題の解決に向けたアプローチを考

えるところであり、ここに挙げたような諸課題に取り組む専門家がそろっています。たまたまの素晴らしい巡り合わせで、社会学部には複数のサイクリストがいました。そこで、各メンバーの知見を結集しながら、「自転車社会学」を社会学における横断的な研究テーマとして育てることができないかと考えました。

社会学部の専任教員は20数名いるのですが、そのうちの10人近くがメンバーに加わりました。研究会としてまず最初に行ったことはオリジナルウェアをWAVE ONEで制作したことです。自転車研究はまず自転車に乗ることから始まるからです。

その後、大学のある板橋区を流れ

る荒川の河川敷を走る「アラサイ」、東京都内でのシェアサイクル、食と観光をテーマにしたグルメライド、三浦半島の「ミウライチ」、南房総・東京湾ライドなど、研究会メンバーでさまざまな実走調査を繰り返しています。

もちろん、学術的なフィードバックも進めています。2023年には、研究会のキックオフイベントのシンポジウム「日常と非日常の自転車活用」を開催しました。2024年にも電動自転車に関する研究セミナーを開催しました。それぞれが論文や研究発表を次第に増やし、活発な活動を続けています。



製作したオリジナルウェアを着たメンバーの集合写真



荒川河川敷観察時の様子



三浦半島の走行調査時の様子

野嶋剛

社会学部教授、本研究会幹事
担当：台湾の自転車利用環境
自転車歴10年、愛車：GIANT・TCR

私の研究テーマである台湾の自転車利用環境には学ぶべき点が2つあります。サイクルツーリズムとシェアサイクルです。およそ1000キロの環島（台湾一周）を台湾の人々にとって「一生に一回はトライしてみたいイベント」と位置付け、環島用自転車道などのインフラ整備も含めて国を挙げて取り組み、社会性の高い観光商品に育てました。シェアサイクルYouBikeは主要都市を網羅し、年間延べ利用回数が一億回を突破するなど市民の足として定着。黄色い車体が都市景観を変えつつあり、台湾はアジアでシェアサイクルの最先端を走っています。



台湾環島を楽しむ（本人）



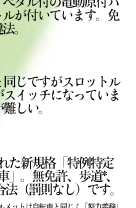
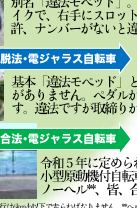
台湾のYouBike（台北市）

電動モビリティの未来。

2023年の法改正以降、主に都市部では自転車から風景が変わり、それぞれにメリットとデメリットがありました。自転車ヘルメットの普及もさることながら、増えたのは「電動〇〇」のカテゴリーです。便利になったと思われる方もいる一方「危ないな!」と思われる方も多いのではないのでしょうか。



電動アシスト車と普通車の出力比較



塚本正文

大東文化大学 社会学部教授・専任研究員
担当：サイクルツーリズムと地方財政
自転車歴4年 ピンディングペダル歴1年

地方自治体の自転車による観光推進政策などを調査しています。

サイクルツーリズムを推進するため、補助金による支援を行う自治体では、地域内にスタンドなど環境の整備や、サイクルバスなどサイクリストを呼び込む体制が充実してきました。インバウンド客を含めた新たな旅行需要の創出の様子取材しています。

財政学を専門としていることから、私の担当としてこれら各地のサイクルツーリズム政策の受益者と負担者の関係性に着目した研究を進めています。



行政へヒアリング後に試走（2023年）



全国の観光地が増えるサイクルラッ

阿部英之助

大東文化大学社会学部 准教授、博士（社会学）
担 当：サイクルツーリズムと地域振興
調査地：岩手県遠野市、山形県鶴岡市など

岩手県遠野市を事例に、サイクル・ツーリズムが農村地域の活性化にどのようにつながるかを調査しています。

「遠野里山ポップサイクリング」は、（走行約13km）参加者がガイドとともにホップ畑が広がる「ポップの里遠野」の里山をゆったりと走り、農家民泊に立ち寄り、地元食材を使ったランチとクラフトビールを楽しみます。

「チャリブラ」を拠点に、「人と会う」立ち寄りポイントを整備し、地域の人々との新たな交流の場づくりと地域資源の魅力発信が進められています。



ポップサイクリングの様子



ガイド先導で里山を走行

めしつか

飯塚裕介

大東文化大学社会学部 准教授・博士（工学）
担当：まちづくりと自転車活用
自転車歴20年、愛車はScott Addict・Focus Cayo

都市計画・建築計画の視点から、自転車などのマイクロモビリティをまちづくりに活かす地域デザインについて研究しています。

日本では、自転車を車いすやベビーカーの代わりに使うなど、「徒歩の延長」として身近に利用されています。しかし、こうした扱いは、自転車の交通機能が十分に発揮されない要因となっています。安全で快適な自転車走行空間を実現するためには、道路や交通ルールの整備に加え、電動モビリティなど多様な選択肢を考慮し、人々の移動手段を再配置するまちづくりの発想が求められています。



東京湾一周ライド（2024年4月）



UR都市機構、トヨタモビリティ東京、板橋区と連携して、高齢化が進む高層・付帯地でモビリティ充てんを実施しました（2025年9月）

自転車とサステナビリティ

自転車のLCA、他の交通機関との環境負荷の比較、交通環境の整備、健康、観光振興、サーキュラー・エコノミー、シェアリング・エコノミーについて主に研究されている。まちづくりとの関係からは、タクティカル・アーバニズムの一要素として自転車について言及されている。また、これまであまり研究されていないが、自転車のランドスケープ、自転車のサウンドスケープもおもしろいかもしれない。自転車のサステナビリティではSDGsとの関連からも述べられることも日本では多い。以下は、SDGsのインデックスで自転車と関連するものである。SDGsの達成に自転車が寄与しているかは精査する必要がある。

- 3.6.1 道路交通事故による死亡率
- 9.1.2 旅客と貨物量（交通手段別）
- 9.4.1 付加価値の単位当たりのCO₂排出量
- 11.2.1 公共交通機関へ容易にアクセスできる人口の割合（性別、年齢、障害者別）
- 13.2.2 年間温室効果ガス総排出量

パーク・アンド・（自転車）ライド
わかやまサイクルトレインプラス
和歌山線（和歌山駅～五条）
予約制のため利用者は0名、観光での利用のためか。
通勤・通学で使用する通常利用とは異なる仕掛けが必要か。



つるたよしふみ

鶴田佳史

大東文化大学社会学部 教授

祝

自転車活用推進功績者表彰受賞(2025年度)

金沢自転車ネットワーク協議会の 15年の歩みと今後の役割

2007
▼
2025

金沢の自転車施策のあゆみ

金沢の自転車施策がスタートした2007年度から4つの時期に分けて振り返ります。

金沢の自転車施策は、これまで大きな災害や戦災を免れてきた城下町特有の狭い道路空間を活かし、「歩行者・自転車・クルマのそれぞれが、安全で安心して通行できる」人中心の道路交通環境の創出を基本理念として進めてきました。2025年度にはこれまでの活動が評価され、自転車活用推進本部から「自転車活用推進功績者」として表彰されました。

2007-2010 黎明期

歩行者を守る視点から自転車通行空間整備に着手し、 多様な関係者の連携、合意形成手法を試み確立

【2007年度】金沢市川田道事務所
バス専用レーンを活用した
「自転車専用通行帯」の整備



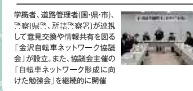
【2008-2009年度】石川県
自転車通行環境モデル地区における
「自転車専用通行帯」の整備



【2010年度】金沢市
「金沢市まちなか自転車利用環境向上計画」の策定と
「自転車専用通行帯」の整備



【2010年度】金沢市川田道事務所、石川県、金沢市、
「金沢自転車ネットワーク協議会」の設立と
「自転車ネットワーク形成に向けた勉強会」の開催



2011-2013 構築期

「まちのり」の導入や「ガイドライン」及び「ネットワーク」の策定を通じて、 自転車利用環境の基盤を構築

【2011年度】金沢市
金沢市公共レンタサイクル
「まちのり」の導入



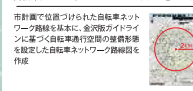
【2012年度】石川県
警察が主体となった
「自転車専用通行帯」の整備



【2013年度】金沢自転車ネットワーク協議会
金沢のローカルルールを盛り込んだ
「金沢自転車通行空間整備ガイドライン」の策定



【2013年度】金沢自転車ネットワーク協議会
「金沢市中心市街地の
自転車通行空間整備ネットワーク路線」の策定



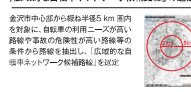
2014-2017 推進期

まちなかでの実績をもとに、 広域的な視点で自転車通行空間整備をさらに推進

【2014年度】石川県
通勤・通学者の多い幹線道路における
「広域的な自転車ネットワーク候補路線」の整備



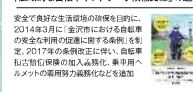
【2015年度】金沢自転車ネットワーク協議会
金沢市内における
「広域的な自転車ネットワーク候補路線」の策定



【2015年度】金沢自転車ネットワーク協議会
自転車利用者や自動車ドライバーを対象とした
「金沢のローカルルール」周知の取り組み



【2014年度】金沢市
「金沢市内における
「広域的な自転車ネットワーク候補路線」の策定



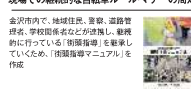
2018~ 発展期

自転車通行空間整備と並行して、 道路の「使い方」を周知するために、自転車ルール・マナー教育を推進

【2021年度】金沢自転車ネットワーク協議会
金沢自転車事故対策研究会の設立による
自転車事故対策の推進



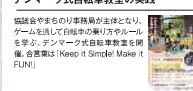
【2021年度】金沢自転車ネットワーク協議会
新指導用マニュアルの作成による
現場での継続的な自転車ルール・マナーの周知



【2022年度】金沢自転車ネットワーク協議会
高校生と連携した自転車事故対策及び
交通安全教育の実施



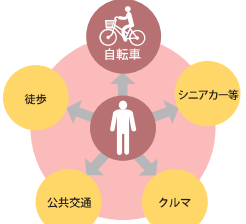
【2023年度】金沢自転車ネットワーク協議会
楽しく自転車を楽しむ方、ルールを学ぶ
デモンストラティブ自転車教室の実施



「金沢自転車ネットワーク協議会」とは？

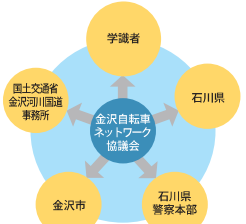
基本理念 人中心の交通体系

自転車通行空間整備は、「人中心の交通体系」を支える一つの手段であることを前提とし、人があらゆる交通手段を安全・快適に利用できるよう、自転車通行空間整備の観点から、道路空間のあり方を検討



構成 実務者レベルでの構成

- 学識者、道路管理者(国・県・市)、警察(県警本部・所轄警察署)により構成
- 直接的に連続した自転車通行空間の整備により、歩行者・自転車・クルマのそれぞれが、安全に安心して通行できる道路空間の創出を目指す



金沢の自転車施策における6つのポイント



連携

既存の道路に自転車通行空間整備をするには、継続的な検討体制が必要で、あらゆる立場の関係者が参加し、現状・課題の共有、整備内容に関する関係者の合意形成とそのプロセスが重要になります。



勉強会

勉強会の目的は、国・県・市・警察による一年間の取り組みを発表し、その経験を共有することにあります。勉強会は新たに自転車施策にかかわる担当者の学びの場でもあります。



調査

歩行者・自転車・バス・クルマそれぞれの立場での一方的な思い込みや、固定観念的な見方になることがあります。客観的なデータに基づき課題を明らかにすることで、説得力のある合意形成が行えます。



ガイドライン

自転車通行空間整備に関する共通ルールを設けることで、統一的な整備ができます。2013年8月には国・道・県道・市道の統一基準となる「金沢自転車通行空間整備ガイドライン」を策定しました。



ネットワーク

協議会では、自転車ネットワーク路線を選定し、市民や道路管理者が将来像を共有することにより、整備促進に向けた前向きな姿勢が生まれます。



フォローアップ

ハード整備の効果を高めるためには、協働で進めるソフト対策(街頭指導など)が重要になります。協議会では、整備前後の事故件数を分析するなど、常に改善策を提示できる態勢で臨んでいます。

協議会の取組による主な効果

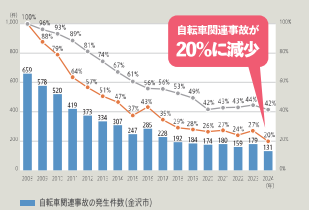


金沢市内における自転車通行空間整備は、2007年度からバス専用レーンを活用した自転車専用通行帯整備をきっかけに広がり、2024年度までに45.3kmが整備済み、中心市街地や郊外部の高校周辺など、自転車の交通需要が高いエリアや路線を優先的に整備しています。

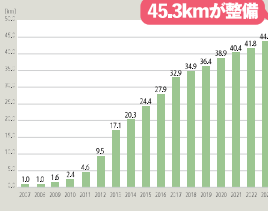


面的な自転車ネットワークの整備や交通安全教育などが一因となり、金沢市内の自転車関連事故が17年間で約20%に減少。また、整備済路線の方が未整備路線に比べて、1km当たりの事故減少件数が大きく、整備による効果が出ています(全エリアで同様の傾向あり)。

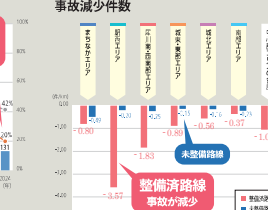
■全国と金沢市の自転車関連事故の比較



■金沢市内における自転車通行空間整備延長



■整備済路線と未整備路線の1km当たりの事故減少件数



協議会の今後の取組・役割

現場第一での 自転車利用環境施策の推進

これまで関係者が「連携・協働」した取組を進めてきたが、今後も現場第一で自転車通行空間整備を進めていきます。

勉強会を通して 金沢の取組発信と 全国の先進都市との交流促進

毎年1回開催している金沢での勉強会を通して、自転車施策の情報発信や情報収集を行い、協議会の活動もアップデートしていきます。今年は、11/21(金)に開催予定です。是非お越しください！



勉強会
参加申込フォーム

モデルケースとして 自転車施策を 近隣自治体へ拡大

金沢市の近隣自治体も自転車施策に取り組み動きが出ており、モデルケースとなるように連携し、自転車ネットワークの拡大などを検討していきます。

金沢自転車ネットワーク協議会事務局

- 国土交通省 北陸地方整備局 金沢川田道事務所 計画課
- 石川県 土木部 道路整備課
- 金沢市 都市政策局 交通政策課

■ 運営支援
株式会社日本海コンサルタント

www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro/tbicycle/





1

駐輪場契約に自転車保険を無料で付加する取組み

サイクルパークから保険プラスサービスのお知らせ



すべての定期に
自転車保険が
無料でプラスされます

お客様の保険料のご負担、お手続きは一切不要です。

万が一の自転車事故で
お相手にけがを負わせてしまった場合、
対人賠償保険金をお支払いします。



対人賠償保険金

支払
限度額 **1億円**

+
示談交渉
サービス付き

対象となるお客様

令和7年4月1日から令和8年3月31日(16時)

までの間に事故が発生し、その事故時に当駐輪場の
定期契約をされている方

※バイク駐車場定期契約は含みません。

補償対象外となる事故の例

・業務中の事故(アルバイト含む) ・遠方のレジャー中の事故



※ご契約駐輪場の生活圏を逸脱した事故は除きます。

・お問い合わせ先
・事故が起きた
ときのご連絡

三井住友海上火災保険株式会社 公務第一部営業第二課
〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-11-1
TEL:0570-020-135(営業時間 平日9:00~17:00) FAX:03-3259-7213



取扱代理店

建栄サービス株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-1 山城ビル2F
TEL:03-3291-6340 FAX:03-3291-6341



公益財団法人
自転車駐車場整備センター



お近くのサイクルパーク駐輪場
検索はこちら

本取組みは、自転車利用者の安全と安心を高めることを目的とした公益的なサービスである。自転車は日常生活に欠かせない移動手段である一方、万が一事故を起こした場合には、高額な損害賠償責任を負う可能性があり社会的リスクとなっている。こうした課題に対応するため、公益財団法人自転車駐車場整備センターが管理するほぼすべての駐輪場（指定管理を含む）の定期契約者を対象に自転車保険を自動的に付帯した。

具体的には、対人賠償責任保険（1億円まで）と示談交渉サービスを、追加費用や手続きなしで提供。補償範囲は通常の通勤・通学ルートで発生した事故を対象とし、特に事故の多い若年層とりわけ高校生の補償を支える点に大きな意義がある。

この取組みにより、利用者に安心を提供すると同時に、被害者の早期救済など事故発生時の社会的負担を軽減し、駐輪場サービスの公益性と付加価値を高める効果を持つ。この取組みは、自転車利用促進と交通安全の両立を図る新しい社会的モデルとして位置づけられる。

2

料金差の導入による混雑緩和や利便性向上の実例



本取組みは、西八王子駅周辺の自転車駐車を対象として、可変料金制の導入による利用分散効果を検討したものである。従来の一律料金制は「駅近で利便性の高い駐輪場」への需要集中を招き、混雑や利用機会の不均衡を生じさせてきた。そこで当該地域において、駐輪時間・駐輪場の立地条件に応じて料金を柔軟に設定することとした。

具体的には、駅前に近接した駐輪場は利便性を反映した料金設定とし、やや離れた施設は低廉な料金とすることで、利用者に多様な選択肢を提示した。これにより、利用が特定箇所に集中せず駅周辺全体における混雑緩和が期待できる。

この料金設計は、交通需要マネジメント（TDM）の観点からも有効であり、公共空間の効率的利用と都市交通の円滑化に資する可能性がある。また、定期利用と一時利用を併存させた料金体系は、通勤・通学利用者と短時間利用者の双方に適応し、利用者満足度の向上をもたらすと考えられる。

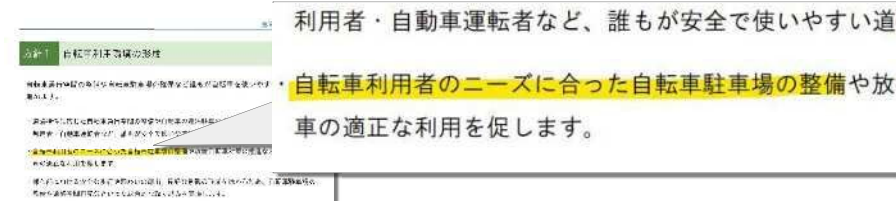
本取組みは、今後の駅前駐輪場運営における新たなマネジメント手法の実証的知見となりうる。将来的には、他都市への展開や、駐輪需要予測モデルとの統合的運用を通じて、持続可能な都市交通基盤の形成に寄与することが期待される。

「地域のニーズに応じた駐輪場整備」とは？

～自動車vs自転車 驚きの駐車場格差～

クルマ社会を問い直す会 里見 岳男（名古屋市在住）

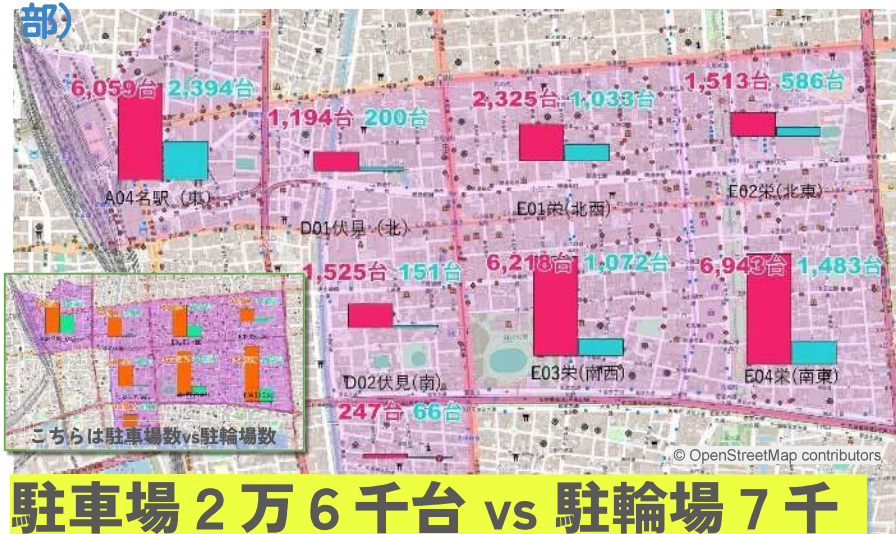
（名古屋市自転車活用推進計画より）



でも「ニーズ」ってどうやってわかるんだろう。なにか他のものと比べてみる？



①駐車場と駐輪場の台数比較（名古屋市都心部）



②車と自転車の延べ来訪台数

	軽乗用車	乗用車	電動アシスト自転車	自転車
中村区	22,164	118,530	285	35,250
中区	13,300	105,846	623	33,371
合計（人/日）		259,840		69,529
合計（台/日）		16万		7万

平成23年バーソトリップ調査、休日の集中量より
R3年度東海ブロックの休日の乗用車の平均乗車人数1.62人/台
https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-data/census_visualization_carR3/index.html

乗用車16万台 vs 自転車 7万台

みんなが乗ってきた台数は
車 16 対 自転車 7 なのに、駐車場は
車 26 対 自転車 7？ それってずいぶんバ
ランスが悪いような...



駐車場 2万6千台 vs 駐輪場 7千台

駐車場データは名古屋市作成『駐車場整備地区等需要量供給量調査委託報告書』（令和6年1月）より



たしかに、 $26 \div 7 = 3.7$ 、 $16 \div 7 = 2.3$ ですから不均衡といえますね。
でも「述べ来訪台数」は10年以上まえのデータです。

ほかにもこんな
問題が...

《駐輪場の附置義務が守られていない件》
名古屋市の条例では、各種商業施設に駐輪場の設置を義務付けているのですが、とくに都心部で守られていない例が数多くみられます。



会報118号にて詳しく報じています！



Q. 錦二丁目の駐輪場不足及び精算機の新紙幣対応について（令和7年6月）

A. ご提案・ご回答

●提案内容等
錦二丁目では、駐輪場の付帯設備として無く出動する乗客（14:00～）には、乗客でたくさんのお客様が自転車の置き場に困っています。乗客の利便性にも駐輪場の増やして頂けないでしょうか。また、精算機を新紙幣対応にしたいと考えています。

●回答
錦二丁目の自転車駐輪場についてご不便をおかけして申し訳ございません。道路上の自転車駐輪場については、歩道に十分な幅員があり、かつ地味や地味の色が施された場所について整備を行っています。地味の色であること、必要に応じて自転車駐輪場の増設は考えていると考えています。設置できる場所に限りがあるため、ご希望の場所に自転車駐輪場がない場合もあるかと思いますが、少し離れた自転車駐輪場をご利用いただくなど、自転車の適切な駐輪に努めていただきますようお願いいたします。

...そういうもの？

ところで有料化で自転車を使う人が減ったってことは放置自転車が増えたりはしていないということ？



R5の年間撤去台数は+1万台でした。

ちよっ...

駅ごとの違いを無視してどこも「6割まで減らす」のは「ニーズに合った」とはとも言えないよね。撤去された人もした人も気の毒。それに自転車活用推進ってほんとうは「ニーズが高まるようにする」ことを目指すべきじゃないかなあ。



《クルマ社会を問い直す会》

1995年に設立された全国的な市民団体。クルマが優先される社会に疑問を投げかけ、歩行者・自転車が尊重される「人優先」の交通社会の実現を目指しています。

当会では学習会や講演会の開催、国や自治体への政策提言、会報の発行などを行っています。会報はホームページにて公開中です。



地域移動環境計画(統合交通計画)の策定と 自転車施策・公共交通施策の複合的取組



田村雅彦／南雲一也／笛田利広／田村翔／平賀大裕(湯沢町)



諸星賢治((同)Modip)



高野葵／小美野智紀((株)ドーコン)

- 湯沢町は年間360万人の来訪がある観光地(冬に3/4が来訪)。近年訪日外国人観光客も増加。
- 町内の公共交通網は人手不足もあって廃止や減便が相次ぎ、また交通空白域が面的にもまた時間帯の空白も含め発生。
- 観光客の二次交通の不足が潜在的な不満につながるとともに、町民の生活利便性も大きく低下。
- 町内では自転車はほとんど使われておらず、国勢調査(R2)の利用交通手段では自転車利用者は51人(通勤・通学)。
- 観光客の送迎などが高齢化が進む観光産業にとって重荷。観光が主産業の町の大きな課題。

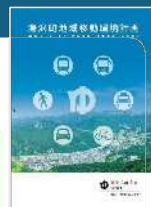
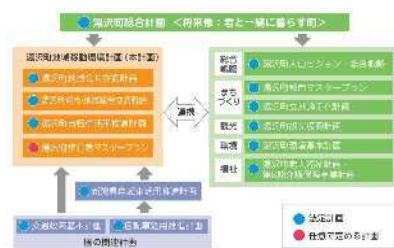
➡ 持続可能な交通網(=移動環境)の確保・整備が必要

2023年(令和5年)3月に「**湯沢町地域移動環境計画**」を策定

- 「地域公共交通計画」と「自転車活用推進計画」を統合し、町内の移動全体の計画として策定
- 立地適正化計画をベースにサービス水準を目標として設定し、多様な主体と交通を包含した**SUMP(Sustainable Urban Mobility Plan)型の統合交通計画**として策定(具体的な目標としてのサービスレベルの提示、KPIの設定)

具体的施策
(一部)

- ✓ 送迎バスの活用によるサービス水準引き上げ
- ✓ **シェアサイクルなど新たなモビリティによる移動サービスの提供**
- ✓ 居住誘導区域内のサービス向上に**自転車を含めた指標を提示** など



↓ 計画を踏まえ様々な事業を実施

公共交通と自転車計画の一体化による複合的な取組の促進

①自転車ネットワーク路線の整備



矢羽根型路面表示の設置

- ✓ 町内の自転車ネットワーク路線について、サイクルルート(モデルルート)指定区間から優先的に通行空間整備を実施
- ✓ 交通量の多い幹線道路を避けたルート設定

②レンタサイクルの利用状況把握



レンタサイクルの行動解析

- ✓ 町内の観光レンタサイクル利用者にGPSログ記録に協力してもらい、行動解析を実施。
- ✓ 移動の実態を把握

③居住誘導区域を巡る町内循環バスの実験運行



サイクルバスの実施

- ✓ 土休日の交通空白域の解消(時間帯空白)
- ✓ 居住誘導区域内の高密度・高頻度化(サービスレベル目標達成)
- ✓ **自転車の搭載を無条件で可としたことで利便性向上(サイクルバスは計画に明記)**

④シェアサイクルの導入検討



シェアサイクルのデモンストレーション

- ✓ 中心市街地(駅前・温泉街)などでの試験的な運用に向けたデモンストレーションの実施

これから

- 公共交通と一体となった交通空白の改善。
- ✓ 観光客・町民にとって利便性の高い交通網を公共交通と自転車の連携で形成
- カーゴバイク等多様な自転車の活用による、利便性の高い地域交通網の形成
- 公共交通との連携をさらに図るための拠点整備を検討
- ✓ カーゴバイクは町内で試乗会を実施。
- ✓ 公共交通の実証実験に合わせた「トランジットセンター」(モビリティハブ)の設置などにより拠点整備をさらに検証



町内におけるカーゴバイク試乗会



モビリティハブの形成

期待効果と課題

- 自転車の活用により交通関連人材(運転手、運行管理者)の不足、また観光担い手不足の解決に寄与できる。
- ✓ 町内の様々な輸送手段(大規模音楽イベントやスキー場、宿泊施設の送迎バス等)の活用
- ✓ さらに自転車を加えることで、端末の拡充による利便性の高い交通環境を形成
- 持続可能な移動環境確保と観光産業の展開。

- ✓ 観光自主財源などの検討
- ✓ バス事業のエリアー括事業の導入
- ✓ 協議運賃によるゾーン運賃制度など持続できる形での実施をさらに促進
- ✓ シェアサイクルと公共交通の有機的な連携



公共交通連携のイメージ(AIイラスト)

自転車リペアハブから生まれるまちの未来

リペアステーションのあるモビリティハブの可能性：すべての人に、すべての移動を

グローバル×ローカルな実践から

はじめに

自転車をはじめ、多様なモビリティや循環型社会への対応として、自転車とリペアステーションを備えたモビリティハブの新しいかたちを考えます。自転車は今や、電車・バス・飛行機・次世代モビリティなどと共存・補完しながらまちを編み直す“媒介ツール”としての役割を担っています。経済・観光・環境・社会・教育・医療福祉の分野でその価値が再評価されています。本発表では、国内外の事例を通じて、公共空間の再設計と移動の質の向上による、持続可能なまちモデルの可能性を探ります。

事例

国・地域	プロジェクト名・概要	取り組み (空間設計・運用・連携)	リペアステーションの役割	社会的意義・連携可能性 (SDGs・CSV)
ポーランド・シヴィエクラニエツ地域	Transport Hub Świątchowiec: バス・自転車・自動車・空港アクセスを統合した乗継拠点	電気自動車充電設備・駐車場・バス停・空港アクセスを一体化。建設時に樹木を一切伐採せず、緑地と共存する設計を実現。市民・観光客の利便性と環境価値を両立が図られている	自転車預かりポートと修理エリアを併設。リペアステーションが設置され、利用者のセルフメンテナンスを支援。2023年4月導入以降、利用頻度も高く、地域の交通利便性向上に寄与している。	多様なモビリティの接続、観光誘致、環境配慮型都市設計/脱炭素・交通統合・地域活性を通じた共通価値の創出に貢献
アフリカ ガンビア (チェコ連携)	Czech Bikes for Gambian Schools (CBGS): チェコ国内で回収・整備した自転車をガンビアの農村部の学校へ寄贈。2012年開始	約8000台の廃棄予定であった自転車と修理設備を提供。自転車整備係の育成、工具・マニュアルの提供、教育省と連携した持続的運用体制を構築。現地での定着が進み、教育支援の一環として機能している。	メンテナンス知識と共に修理ステーションを学校敷地内に導入。現地の子どもたちが自立的に整備可能となり、通学環境の改善にもつながっている	教育機会の拡充、技術移転、交通アクセスの改善/国際教育支援と技術普及を通じた価値共創モデル
スイス・ジュネーブ	CERN Green Village: 環境負荷を抑えた「町の中の町」構想(総敷地面積624ha)。CERNキャンパスを活用した持続可能な技術の実証・連携拠点として運営	キャンパス全体を持続可能なモビリティの実証フィールドとして活用。職員向けの自転車貸出、e-bikeの導入、サイクリングルートの整備などを通じて、環境負荷の少ない移動手段を促進。利用者の満足度も高く、継続的な改善が進められている	都市設計・環境政策・モビリティ実験の先進拠点である施設内の持続可能な交通インフラの一部として導入。日常的な整備支援に加え、技術実証の一環としても活用されている	グリーンエコノミー推進、研究機関による社会モデル提示/脱炭素技術の実証と社会実装による共通価値の創出
ネパール・カルトゥングラ	世界最高地点の自転車アクセス支援: 山岳地帯の集落において、自転車を活用した通学・物資輸送支援を展開と地域住民が協働	NGOが寄贈した自転車を地域で共有。修理技術の伝達と、集落内での自立的運用体制を構築。地形に応じたルート整備も実施され、地域の生活基盤強化に貢献している	電源不要のリペアステーションが山岳地帯で活躍。観光客と地元住民の両方に貢献。2022年11月、標高3540m地点に導入され、世界最高地点級の事例として注目されている	環境配慮型インフラ促進。生活支援と地域自立/地域交通と生活基盤の改善を通じた持続可能な価値創出
ドイツ・ベルリン	Testfeld Fahrradparken: ベルリン中央駅にて、多様な駐輪設備の市民参加型の、モビリティハブの機能と空間設計を検証。2025年7月開始	ベルリン中央駅、その他駅前広場や再開発エリアに修理設備・駐輪場・案内サインを統合配置。市民ワークショップや現地テストを通じて設計を調整し、地域ニーズに即した運用の可能性が高まっている	偏群の一部として設置。利用者の声を反映しながら、2025年7月導入。市民参加型の交通改善モデルとして評価されている	公共空間の改善、交通の多様性、政策形成への市民参加/官民・市民が協働する都市改善の価値共創モデル
オランダ・ロッテルダム	Bike Repair Station Rotterdam (地元共同体Kongsi): 移動支援・環境配慮・地域文化の醸成を推進。2022年7月開始	公共空間・企業・学校・医療施設などにリペアステーションの設置支援。住民・自治体・企業が共同で設置・運用。廃棄物削減と資源共有を通じて、持続可能な都市文化の醸成が進んでいる	市内3か所に設置。個人所有を前提としない「共有型インフラ」として導入。ワークショップやDIY修理を通じて市民の自立支援が促進されている	移動の自由と環境負荷低減/経済的包摂とリペア文化の普及による循環型価値の共創
日本・京都市	かるがも薬局 SDGs取り組み: 地域の健康支援。医療・福祉と地域交通をつなぐ新たな地域拠点として機能	通院・介護・買い物など生活動線に寄り添う設計を実現。福祉施設や訪問看護との連携も視野に入れ、地域の健康支援と移動支援を両立するSDGs実践として展開。地域住民からの評価も高く、継続的な活用が進んでいる	薬局前の公共スペースを活用し設置。地域住民が気軽に自転車整備できる環境を提供。2023年9月導入以降、日常利用が定着し、生活支援インフラとして機能している	健康増進、地域福祉、持続可能な交通支援/医療・福祉・交通をつなぐ地域共創型の価値形成



その他、事例はたくさんあります



リペアステーションとは？



リペアハブから見える未来

世界各地の先進事例から、リペアステーションのあるモビリティハブが、移動の自由と都市の包摂性を支える力を持っていることが見えてきました。それは、単なる設備や交通拠点ではなく、環境負荷の低減やリペア文化の普及を通じて、人と人、人とまちをつなぎ、地域に持続可能な循環を生み出す仕組みとして機能しています。今後も、地域に根ざした取り組みとグローバルな視点をつなぎながら、誰もが使いやすく、開かれた公共空間のあり方を検討していきます。そして、自転車が自然に選ばれる移動手段として定着し、地域の挑戦とともに、自転車利用環境の向上につながることを目指して取り組みを進めたいと考えます。



Velo-city 2027 Ehime

【Velo-city】

自転車政策決定者、研究者・有識者等が国内外から1,000人以上集まり、最新の知見の共有や交流により、自転車の利活用促進等を図る世界最大級の自転車に関する国際会議

年に一度、欧州を中心に、欧州サイクリスト連盟（ECF）と開催都市の共催により開催され、2027年の愛媛開催は国内では初めて、アジアでも台北に次いで2度目の開催となる

学術会議

- ・全体会議、分科会、ワークショップ等多種多様形式で4日間開催（プログラム数80程度）
- ・講演者は400名以上
- ・議題：自転車を活用したまちづくり、自転車に関連する社会課題、安全利用 等



展示会

- 自転車関連事業者等による展示（約70ブース）
- ・自転車設備（駐輪設備、メンテナンス機器）
 - ・モビリティ関係（シェアサイクル、交通アプリ）
 - ・インフラ系（道路標識、通行カウンター）
 - ・行政関係、自転車協会等



交流イベント・視察

- ・歓迎レセプション、ディナーパーティー
- ・市内中心部を自転車で走行する自転車パレード（一般市民も参加可能）
- ・テクニカルビジット（視察ツアー）
- ・一般市民参加型併設イベント 等

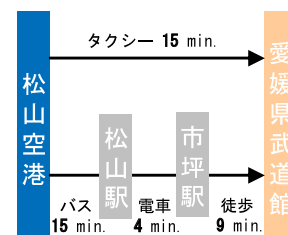


（Velo-city2025グダニスクの様子）

【Velo-city2027Ehime】

日程：2027年5月25日～5月28日

会場：愛媛県武道館（松山市市坪西町）



【お問い合わせ】Velo-city2027Ehime実行委員会

（愛媛県自転車国際会議推進室）

Tel:089-907-5223 Mail:velocity2027@pref.ehime.lg.jp

鳥取県のサイクルツーリズム推進施策 『サイクリストの聖地・鳥取県』に向けて ～『鳥取うみなみロード』をNCR指定へ～

鳥取県 観光戦略課 サイクルツーリズム振興室 室長 木原 久美

鳥取県の目指すところ

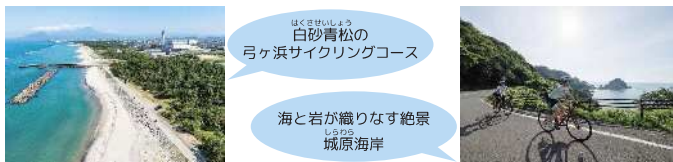
鳥取県が誇る自然や景色、食、温泉等の観光資源に新たな価値を加えるサイクルツーリズムの推進。
『サイクリストの聖地・鳥取県』の実現を目指すとともに、国内外からの観光誘客を促進するため、
官民が一体となり、『鳥取うみなみロード』のNCR指定に向けて取り組んでいます！



『鳥取うみなみロード』をNCR指定へ

鳥取うみなみロード

水木しげるロードから皆生温泉、大山、鳥取砂丘、浦富海岸など、誰もが知る観光地や風光明媚な大自然の景色をつなぐ**全長約152Kmのサイクリングルート**。



《ゲートウェイ及び矢羽根等の整備》

交通結節点におけるゲートウェイ整備！

- 〈具体的な取組内容〉
- ・組立解体スペースの設置
 - ・サイクリングマップ看板の設置
 - ・アクセスルートの整備 など



その他、米子鬼太郎空港・JR倉吉駅にも整備！
利用性向上を進めるとともに、JR鳥取駅も新たに整備予定！

すべての道路利用者が安心・安全に 走行できる環境づくりを推進



矢羽根や路面表示(注意喚起)等を整備

《ロゴマークの決定》

情報発信力の強化及び認知度向上につなげるため、ロゴマークを決定！！

- ・ロゴマークを活用し、発着地点(東浜駅、境港駅)を示す、看板や路面標示を設置
- ・ルート沿線にはサイクリストの周遊促進を図るためモニュメントを3箇所設置(R8.2月)



《インバウンドを意識した受入環境整備》

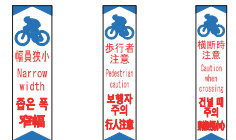
- ①サイクリングMAPの作成
(英語版、韓国語版、繁体字版、简体字版)



- ②英語版HP(県内サイクリング情報)の作成



- ③4か国語による路面表示の整備
(日本語・英語・韓国語・中国語)



『サイクリストの聖地・鳥取県』に向けて

サイクリングガイド養成講座

サイクリングガイドの掘り起こし、人材育成を図るため、県商工会連合会と連携し、「座学+実技」の講座を実施。

※令和2年度から県商工会連合会のブランディングプロジェクト「大山時間」が県西部圏域で実施している講座に加え、令和3年度から県が東部・中部圏域で実施し、全県展開。



受講者は県の主催する
エクスカーションライド
のガイドやツアー造成
等を行い活躍中！

安心してください！「ダイジョウブ」です！

サイクリスト支援体制『ダイジョウブシステム』の参画施設は県内全域に約370施設！※(R7.9月末時点)

《主なサービス内容》①バイクラック設置 ②トイレ利用 ③空気入れ・工具の無償貸出 等

- コグステーション(12施設) ※レンタサイクル拠点
- サイクルカフェ・ポート(294店舗) ※飲食店・コンビニ
- サイクリストに優しい宿(40施設)
- サイクルキャリア搭載UDタクシー(20営業所)

コグステーション



サイクリング拠点に！

サイクリストに優しい宿



室内保管で安心！

サイクルキャリア搭載UDタクシー



万が一の時も安心！

機運醸成・イベント

《SetouchiVélo協議会(広域連携)》

瀬戸内地域やその周辺地域を、環境に配慮した、安全で快適な、世界にも認められる「サイクリングの推進エリア」にすることを目的に
各地・機関が連携し様々な取組を実施(令和5年10月に加入)。

[組織体制] 85団体(構成団体23団体/参加団体62団体)(令和7年9月末)

境港・米子ミーティング(R6.4月)

[参加者] 60名程度(参加団体、行政団体等)



「しまなみ海道」推進の第一人者、河上氏による講演。



コースを試走し、走行環境等をチェック

⇒R7.10月には、鳥取・若美町ミーティングを開催！

サイクリングルート調査(R7.7月)

鳥取県と岡山県を結ぶルートの新設に向け、
ルートの実走視察の実施！



走行確認後には、意見交換及び有識者による勉強会。



《サイクルイベント》

初心者向け！「やすわかライド」

鉄道とサイクリングを同時に楽しめるイベント！



5月の自転車月間にあわせて、
自転車交通マナー啓発のため
ブース出版

⇒その他、令和7年度は計14のイベントを開催！

大好評！『鳥取うみなみ250』

1日で250kmを走破する国内最長級イベント！



参加者の約8割は
県外在住者！
毎年、約200人が
エントリー！

走る！乗る！つなぐ！自転車×公共交通の取組 ～サイクルトレイン・サイクルバス・UDタクシー～

鳥取県 観光戦略課 サイクルツーリズム振興室 室長 木原 久美

自転車とつながる公共交通の未来シンポジウム開催[6/21]

全国のサイクルツーリズムに取り組む事業者や自治体が集い、各地のサイクルトレイン・サイクルバスの先進事例や課題を共有し、公共交通とのさらなる連携促進を目的に全国会議を開催。（参加者）約150名

（主催）鳥取県 （後援）国土交通省自転車活用推進本部事務局



安全性や車両対応、社内調整など、現場の工夫で制度や慣習の壁を乗り越える取組が共有された。

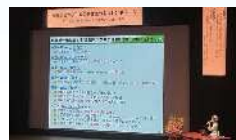
事例紹介（JR東日本・近畿日本鉄道・JR西日本・神姫バス・田原市）

実現には制度や装備だけでなく、現場・自治体・国との継続的な対話が重要と議論された。

パネルディスカッション



基調講演(鈴木 美緒氏 | 東海大学)
欧州事例を踏まえ、サイクルトレインバス導入の考え方や課題を提示。



話題提供(金龍 史彦氏)
公共交通との連携で、移動可能エリアを点から面へ拡大することが、持続・普及になると提言。

開催結果

- 自転車と公共交通の連携の有用性を確認することができたほか**全国各地のサイクルトレイン・バスの先進的な取組や課題とその対応策について共有**することができた。
- 県内の市町村やサイクルツーリズム事業者のNCR指定に向けた機運醸成に繋がった。

「鳥取だいせんサイクルバス」試験運行開始！

- 鳥取県と日本交通(株)が連携し、サイクリング環境の充実と新たな観光体験の創出を目的に、R7.5月から実証事業を実施。
- 大山エリア(標高700m)で自転車をそのまま積載できる「サイクルバス」の試験運行をR7.10月から開始。



<運行概要>

項目	内容
実施区間	大山町内路線：大山口駅～大山寺 ※途中乗降不可
運行期間	令和7年10月11日(土)～11月30日(日) 土日祝のみ
運行便数	1日7便【大山口駅発4便、大山寺発3便(※下山便)】
定員各便	2名・2台
利用料金	1名+1台:1,500円(乗車料金を含む)
予約方法	JR西日本観光ナビ「tabiwa by WESTER」で予約



バスで登坂区間をスキップし、標高700mの大山から初心者でも気軽に絶景ダウンヒルが楽しめる。

「鳥取だいせんサイクルバス」の特徴

- 車両改造を行わず車内積載方式を採用し、**コストを抑え持続的運行や他路線への展開を可能**に。
- 「鳥取うみなみサイクルトレイン」と同じ予約システムを導入し、利用者の利便性を確保。



詳細はこちら

「鳥取うみなみサイクルトレイン」大幅パワーアップ！

- 「鳥取うみなみロード」の代替交通として活用するため、R5よりJRと連携し、実証事業や期間限定運行(鳥取～米子区間)を実施！
- R7.4月より通年運行(土日祝のみ)へと移行するとともに、自転車積載台数の拡充や便数の増加を実現。

<主な変更点>

項目	令和6年度	令和7年度
運行期間	期間限定(3ヶ月)	通年運行
乗車可能駅	4駅	22駅
運行ダイヤ	1日1往復	1日3往復
積載可能台数	3台(3両編成)	最大5台(3両編成)



安心！便利！サイクルキャリア搭載UDタクシー

- 万が一の時も安心！県内のタクシー会社(20営業所)にスポーツ用自転車を固定する「サイクルキャリア」を配備！



サイクリストとともに、自転車を車内に積載！



タクシー会社向け
サイクルキャリア勉強会の様子

まとめ

- 自転車と公共交通の連携を通じて、新しい旅の形を提案し続ける。
- 「**できることから始める**」姿勢のもと、**利便性向上を目指し、交通事業者と連携し検討**を進めていく。



自転車で地域の魅力向上！ 過疎地域における広域的な自転車活用ビジョンの策定と今後の展開 ～日野郡サイクリングルートを中心とする広域景観形成～

鳥取県観光戦略課 サイクルツーリズム振興室 室長 木原 久美／西部総合事務所日野振興センター 参事 門脇 美里

鳥取県南西部に位置し、伯耆富士とも呼ばれる名峰「大山(だいせん)」をはじめとする中国山地に抱かれ、日野川が流れる自然豊かな**日野郡**では、鳥取県と3町(日南町、日野町、江府町)が「鳥取県日野郡連携会議*」を組織し、様々な地域課題の解決に連携して取り組んでいます。

令和7年3月、広域による「日野郡自転車活用推進計画」を策定、「日野郡サイクリングルート」を活用し、美しい自然景観や食などの地域資源の磨き上げにより日野郡エリアの魅力の向上・発信を進めることで、誘客促進と地域活性化を目指します。

*「鳥取県日野郡連携会議」とは…平成27年7月、鳥取県と日野郡3町で「鳥取県日野郡ふさと広域連携協約」(地方自治法第252条の2)を締結。「鳥取県日野郡連携会議」として、3町の現在及び将来に想定される課題について、県や町の独自性を柱としつつ、より柔軟かつ機動的に連携し取組を進めています。

「日野郡自転車活用推進計画」の取組



日野郡サイクリングルート

- *日野郡3町をつなぐ一級河川「日野川」や、国道を走るルート
- *3町の「大山時間」おすすめコースを繋ぐ形で設定
- *県西部の南北ルート化により、西部圏域サイクリングルートの広域化へ



推進目標

活用推進	I 暮らしの中の交通手段としての自転車活用
	II サイクスポーツの振興や自転車利用の促進による健康で活力ある地域づくり
	III サイクリングルートを活用した日野郡の魅力向上
環境整備	IV 自転車の安全利用の促進
	V 地域の実情を踏まえたサイクリング環境の整備

計画期間 令和7～令和11年度(5年間)



*計画策定記念 「とっとり日野路を満喫！ サイクリングフェスティバル」

日野川の風を感じながら日野郡3町を駆け抜け、ジビエやスイーツなど当地グルメで心を満たすサイクリングイベントを初開催！
残念ながら、荒天のため中止となりましたが、県内外から多くの参加申込をいただき、サイクリングを通じて日野郡を訪れるきっかけとなりました。

(期 日) 令和7年9月14日(日)
(コ ー ス) ロングライド:82.9km ショートライド:21km



「日野郡サイクリングルート」を中心とする広域景観形成

日野郡サイクリングルート周辺の美しい自然や田園風景などの景観資源やビューポイント、滞留拠点の保全・磨き上げと更なる活用を進め、誘客促進や住民の満足度向上に繋げるため、日野郡3町による景観形成に係る行動計画を策定し(R8.3予定)、官民一体となって取組の拡大を図ります。

景観形成の取組コンセプト



つなぐ
×
つどう

豊かな自然、先人が築いた歴史・文化や人びとの暮らしの繋がりによって形作られた景観資源を、この先の時代にも繋いでいきます。

景観とともに豊かな食を楽しむための「滞留拠点」を磨き上げ、人びとが訪れなくなる、集めなくなる地域づくりを目指します。

美しい景観や食を楽しむために多くのサイクリストや観光客が訪れ、集う日野郡に



県西部に豊かな恵みをもたらす「日野川」



かつて たら製鉄で栄えた「根雨宿」

景観形成におけるコンセプトカラー



基本カラー

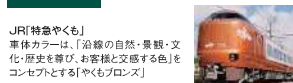
愛称:ひのブラウン

かつて日野郡で栄えた「たら製鉄」を想起させる和の伝統色「錆色(さびいろ)」と3町を走るJR特急やくも号のボディカラーの中間をイメージ

サブカラー

愛称:ひのブルー

「たら製鉄」を想起させる和の伝統色「鉄色(てついろ)」



JR「特急やくも」
車体カラーは、「沿線の自然・景観・文化・歴史を尊び、お客様と交感する色」をコンセプトとする「やくもブロンズ」



景観形成の取組の具体例

- ◆ 老朽化した看板の撤去
- ◆ 景観に配慮した色彩の看板に改修
- ◆ 住民によるガードパイプの塗替、沿道の清掃活動 等



私たちは「鳥取うみなみロード」のナショナルサイクルルート(NCR)指定を目指しています！



鳥取県西部ブランディングプロジェクト「大山時間」DAISEN JIKAN

サイクリスト聖地化事業

鳥取県商工会連合会 西部商工会産業支援センター所長 前畑 裕 志



鳥取県西部7商工会が連携して、平成29年に鳥取県西部ブランディングプロジェクト「大山時間」を立ち上げ。令和元年からは、地域課題の解決に向けて、サイクルツーリズムによる国外を含む域外からのサイクリング誘客を中心とした消費拡大を目的に地域ブランドの確立によるブランディングを推進。サイクリストの受入環境整備事業として機運醸成やサイクルプロツアーガイド・地域コンシェルジュ養成、サイクルツアー造成、情報発信等を実施してきた取り組みが、認められました。

- ① 理念共有・機運醸成事業
(キックオフ会議・シンポジウム・研修会等の開催)
- ② サイクリストの受け皿づくり
- ③ 行政との連携
- ④ ナショナルサイクルルート指定へ向けた取り組み



令和3年度経済産業省

商務・サービス審議官スポーツ振興賞 受賞！

令和6年度国土交通省

自転車活用推進功績者団体表彰 受賞！

商工団体初！
鳥取県初！

01

国立公園大山の自然（山から日本海へ）堪能ダウンヒル！

「自転車とつながる公共交通の未来シンポジウム」エクスカージョンライド

鳥取県西部地区では、大山町のフィールドアスレチック「森の国」のスタッフによる、全長24kmのダウンヒルコースをエンジョイライド！大山の自然と食を堪能しながら走っていただきました。



02

大山時間 “チャリ旅” ツアー

2025秋編

鳥取県西部7商工会地域で作成したサイクリングマップ“サイクルde「大山時間」チャリ旅編”を基に企画。「モニタリング」から、「ツアー商品造成」にステップアップ！

江府町

Point!

SNS映える風景や本ツアー限定体験が盛りだくさん！

奥大山の清流と豊かな自然で育った
“黄金の穂波”を駆け抜けるツアー



日南町

Point!

手ぶらでサクッと日南町体験

日南町で収穫体験しながら、かるう〜くダウンヒル



日野町

Point!

金運チャージ、心もお腹も満たす日野町ライド

“特急やくも”と走る！開運グルメライド in 日野町



伯耆町

Point!

大山を存分に愛でるツアー

大山の風を感じて、伯耆を駆けける絶景ツーリング！



チャリ旅MAPIはこちらから



CHECK!!

サイクルガイド養成講座受講生が、
今回のチャリ旅でサイクリングガイドとして頑張っています！



フォローお願いします！

NEW

Instagram

YouTube



@daisen_jikan

@大山時間



“食べて、感じて、笑って、遊ぶ。” とっとり「大山時間」

地域資源を発掘し、磨き、発信し、外貨を稼ぎ、地域を元気にする！

お問い合わせ

鳥取県商工会連合会 西部商工会産業支援センター



0859-37-0085



tss-sect@tori-skr.jp

いしかわ里山里海サイクリングルート

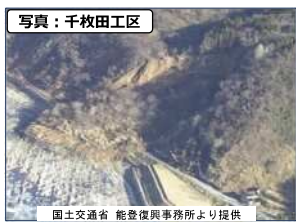
石川県土木部道路整備課 斎藤、大代

いしかわ里山里海サイクリングルートについて

石川県では、豊かな自然、美しい里山里海の景観等を活かして、観光振興・地域活性化を図るため、平成28年度から、県・市町と共にサイクリング環境の整備に取り組んでおり、加賀から能登までの各観光地や海岸線を巡る、サイクリングルートを設定しています。

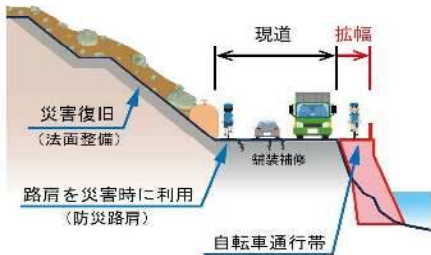
能登地域での取り組み

- 地震や豪雨で甚大な被害
- 国の協力も得ながら、道路を復旧中
- 創造的復興に向け、関係・交流人口の拡大を図るため、「能登半島絶景海道」の取り組みを検討・実施

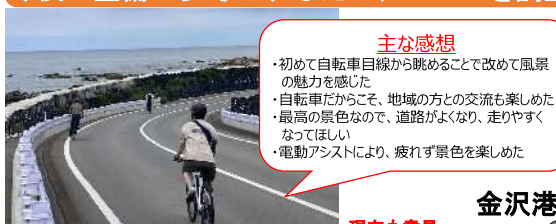


能登半島絶景海道の取り組み内容

- 本復旧に合わせた、道路の強靱化、自転車空間の整備
- 視点場やブランド化等の魅力向上



サイクリング体験イベントを9月末に実施!!
今後の整備の参考とするため、ニーズを調査



ACCESS

- ・飛行機
羽田空港⇄小松空港 ……約1時間
羽田空港⇄のと里山空港 ……約1時間
- ・新幹線
東京駅⇄金沢駅 ……約2時間30分
- ・自動車
練馬IC⇄金沢森本IC ……約6時間

走行環境の整備

矢羽根型路面標示や案内看板などの走行環境が整備



受入環境(レンタサイクル)

金沢駅や鶴来駅の周辺で
e-bikeのレンタル可能



自転車組み立てスペース(試行設置)

加賀温泉駅の駐車場に今年度試行設置



11月には
輪行講座も含めた
サイクリングツアーを
実施する予定だよ!

福井県

富山県



欧州のサイクリングマップに学ぶ、 コース・マップの作り方

自転車ライフプロジェクト 藤本 芳一

自転車ライフプロジェクトの藤本は、20年以上にわたって実際に世界各地のコースを走り、配布・販売されているマップを収集し、それを参考にサイクリストの目線から各地のマップ・ガイドブックづくりを行ってきた。今回の発表では、サイクルツーリズム先進地域の欧州のサイクリングマップを例に、本当に使えるコースとマップ作りについて考える。

サイクリングマップが一番充実しているのは、ドイツである。おそらく世界一のサイクルツーリズム先進国だと思われる。
大きな書店に行くと、サイクリングマップ・ガイドブックが書棚一つを占め、その出版を専業とする会社があり事業として成り立っている。

ドイツで販売されているサイクリングマップ・ガイドブックは、大きく冊子形式と1枚ものに分けられる。

※以下、赤字は日本でのサイクリングマップ制作においても重要だと思われるところ。

フランクフルトの書店にて
書棚1つがすべて
サイクリングマップ・
ガイドブック



冊子形式の代表例 bikeline シリーズ

Esterbauer 社（本社：オーストリア ローディングアイドルフ）



ドナウ川サイクリングロード 3
ウィーン〜バダースト 約 325km
全 140 ページ
7 万 5 千分の 1 スケール

表紙

中身を開いたところ



bikeline シリーズ

- ◆ リング閉じ
(自転車のフロントバッグの上に地図入れに開いた状態で入れられる)
- ◆ 表紙はビニール張りの耐久
- ◆ 見開きで、観光案内と地図 コースを進むのに合わせてページをめくると順に詳しい地図と観光案内が見られる
- ◆ 同社ウェブサイトにて更新情報が随時掲載される
- ◆ コースの GPS トラッキングデータのダウンロードが可能
- ◆ ドイツとその周辺を中心に、約 400 地域のガイドブックを販売



凡例（日本語に翻訳、自転車に関するもののみ掲載）



- ◆ 道の状態が非常に詳しく分類されている
(他にはないこのガイドブックならではの情報・詳しい実地調査が必要)
- ◆ 等高線や坂道の記号が掲載され坂の状況がわかる (自転車にとって坂の情報は重要)

実際に上記のマップのコースを走ってみると

- ◆ 遠回りになっても幹線道路を避け、車の少ない裏道を繋いでいる
- ◆ 幹線道路に自転車レーンがあっても裏道が優先 (クルマがビュンビュン走る道の横を走っても面白くない)
- ◆ 未舗装のところも多い (日本人の感覚と違うところ)
- ◆ 坂がかなりきついところもある (坂道はあまり気にしていない)

藤本が中心になって制作した地域の人々との協同制作の例

『びわ湖公式ガイドブック びわ湖一周・滋賀してんや旅』

びわ湖だけでなく、街道コース（東海道、中山道等）、近江鉄道サイクリング利用のコース（自転車＋公共交通の利用促進）、滋賀県内各地域のコースを掲載。県内各地域で、サイクリングツアー実施などの活動をされている団体、個人の方々に実際に自転車で走っていただき、コースを作成、調査までしていただいた。

2022年4月26日 八重洲出版 発行
輪の国びわ湖推進協議会 編
定価 1,320 円（税込）A5 判 全 172 ページ

1 枚ものの代表例 ADFC-Regionalkarte シリーズ

BVA BikeMedia 社（本社：ドイツ ビーレフェルト）

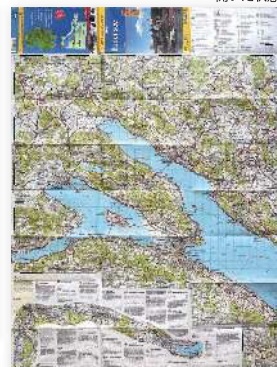
ADFC（全ドイツ自転車クラブ）監修

ボーデン湖

69×95cm 両面
(A1 サイズより一回り大きい)
5 万分の 1 スケール



表紙



一部を拡大したもの



ADFC-Regionalkarte シリーズ

- ◆ ビニール張りの耐久
- ◆ コースの GPS トラッキングデータのダウンロードが可能
- ◆ コースがネットワークとして掲載されている
(掲載コースを自由に繋いで走行可能、地域全域を走ってもらえる)
- ◆ 道の状態が非常に詳しく分類されている
(bikeline シリーズと同様)
- ◆ 等高線や坂道の記号が掲載され坂の状況がわかる
- ◆ ドイツ国内約 100 地域版を販売 ドイツの大部分を網羅



サイクルツーリズム推進についてより詳しくは

『サイクルツーリズムの進め方 自転車をつくる豊かな地域』

サイクルツーリズム振興に取り組む自治体、観光業界、市民団体などに役立つ初めての手引書。これからコースづくり、イベント開催に取り組むとき、さらに広めよう、質を高めようと思いつくとき、役立つノウハウ満載。びわ湖一周する「びわイチ」10年の実践と、しまなみ海道や全国の事例調査から実例をまじえて具体的に解説

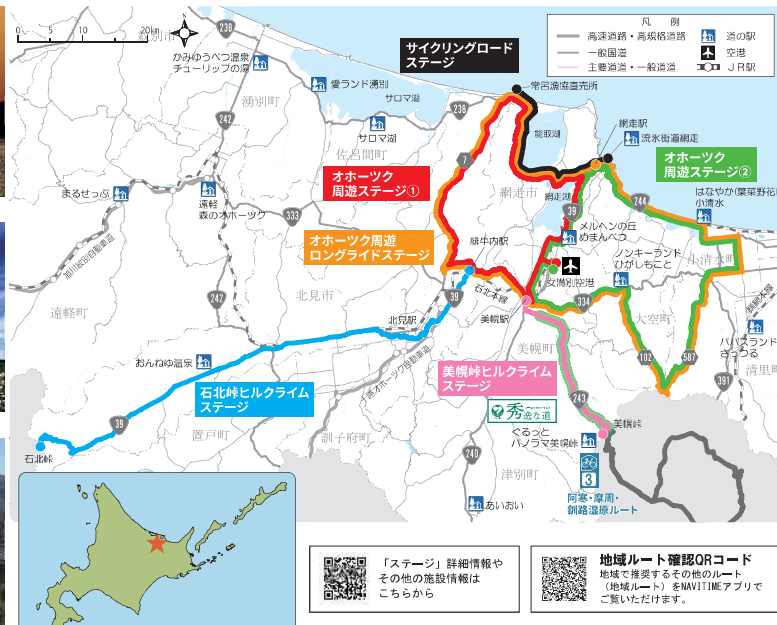
2019年10月11日 学芸出版社 発行
藤本 芳一 + 輪の国びわ湖推進協議会 編
定価 2,530 円（税込）A5 版 全 208 ページ

「オホーツクサイクリングルート」の取組み

オホーツクルート協議会（アドベンチャーオホーツク推進協議会）
北海道開発局 網走開発建設部 道路計画課 川岸 由布子 株式会社ドーコン 佐藤 航平

オホーツクサイクリングルートとは

ゲートウェイである女満別空港を中心に、オホーツク海沿岸の能取湖、網走湖、小清水原生花園といった名勝地、石北峠・美幌峠・藻琴峠の3つの峠を含む全長約321kmのサイクリングルートです。



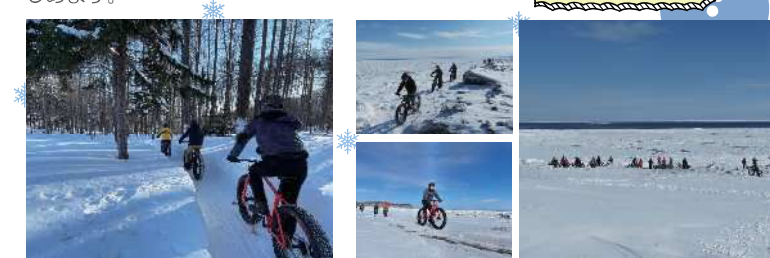
季節を問わず楽しめるサイクリイベント

オホーツクサイクリング
今年で3回目を迎えた、2日間のタイムを競わないサイクリングイベントです。毎年7月に開催され、爽やかな気候と壮大な景色、地域の名産を使ったエイド食が好評です。



スノーバイクライド
雪に覆われたコースをファットバイクで走行する冬のサイクリングです。道の駅グルメや温泉を楽しめます。

流水ライド
流水が押し寄せる海岸をファットバイクで走破する体験です。この体験ができるのは、日本でもここだけ！



充実した「サイクリスト支援」

ハッカミントエクスプレス
サイクルトレーラー付きの車両です。自転車を載せて移動し、景観の良いところだけサイクリングするツアーを実施しています。
急な坂道や疲れた場合は休めるので、小さなお子さんなど様々な年代の方が楽しめます。

サイクリスト・応援カー
万が一のトラブルに工具等を無料で貸し出します。

工事現場のトイレ提供
工事現場のキレイなトイレを借りる事が出来ます。



安全で快適な「走行環境の整備」

ルート上には予告案内看板や分岐路面標示が設置され、主要交差点や急カーブ手前には矢羽根型路面標示もあり、安全かつ快適に走行できます。



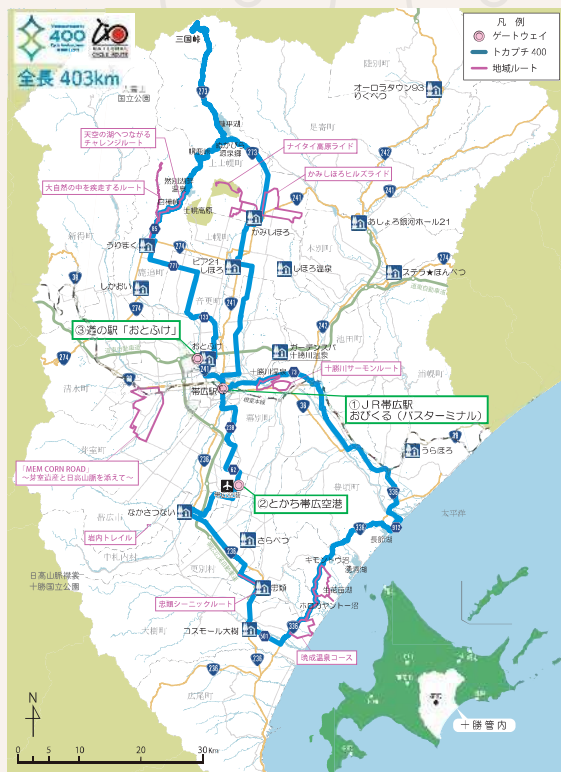
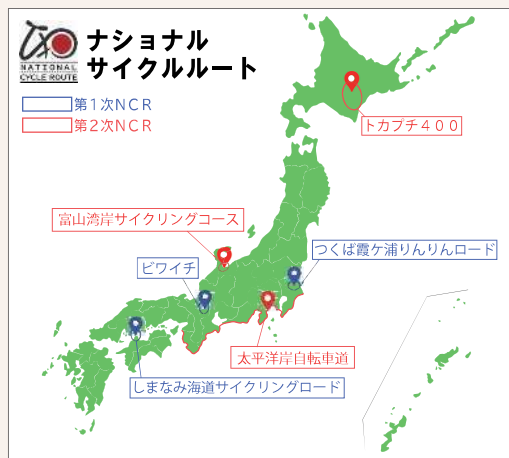
ナショナルサイクルルート 「トカプチ 400」の取り組み

北海道 TOKACHI サイクルツーリズムルート協議会 北海道開発局帯広開発建設部道路計画課 鈴木 芳朗 株式会社ドーコン交通部 小林 岳

トカプチ 400 とは

北海道帯広市を起点として上士幌町から大樹町までを8の字で結び、十勝管内12市町村を通過する全長403kmのナショナルサイクルルートです。雄大な十勝平野の中央部を十勝川が流れ、西側と北側には2,000m級の日高山脈と東大雪がそびえ、平野部のところどころに扇状地や丘陵地が広がるルートで、広大な十勝管内の魅力が詰め込まれています。

トカプチ 400
HPはこちら



トカプチ 400 の取り組み

トカプチ 400 セクション分けの実施

トカプチ400では、初中級者などのサイクリストの裾野を広げることを目的として、約400kmのルートを8つのセクションに分けた案内を開始しました。また、トカプチ 400 パスポート（スタンプ帳）を発行し、リピーターとして複数回来訪して頂く効果も期待しています。



トカプチ 400 パスポート
(スタンプ帳)

スタンプ台

ルート内では8つのセクションの周遊を
促すスタンプ事業も実施されています



走行環境の整備

サイクリストがセルフガイドで安心安全に走行できるよう走行環境の整備を進めています。



案内サイン
(支柱の看板設置)

矢羽根型路面表示
(トンネル内の側)

注意喚起看板
(幅員の狭い路線)

サポート体制の充実

道路パトロールカーや河川巡視車両へ工具・空気入れを搭載し、トラブルに遭遇したサイクリストをサポートできるよう備えています。



職員への講習会の開催も実施



受入環境の充実

道の駅などの公共施設や民間施設へ呼びかけを行い、サイクルステーション・サイクリストにやさしい宿を増やしています。



施設入口へのフラッグの貼付

道の駅
かみしほろ

工具・空気入れの貸与

サイクルラックの貸与

PR 活動の実施

トカプチ 400HP やサイクルマップ、PR 動画などで広くトカプチ 400 の情報を発信しています。



サイクリングマップ

デジタルスタンプラリーによる周遊促進

トカプチ 400 は、今年度ナビタイムジャパンが運営するアプリ、自転車 NAVITIME (アプリダウンロード数 200 万 DL 以上) のデジタルスタンプラリーに追加されました。これによりルートの知名度向上・周遊促進を図ってまいります。



スタンプラリーは
こちら

ナショナル サイクルルート スタンプラリー



ナショナルサイクルルートスタンプラリーを紹介するWEBページ

スタンプスポットとポイントに応じた景品の応募

地域ルートの認定

トカプチ 400 周辺エリアの地域資源への立ち寄りや、地域全体の魅力を向上するため「地域ルート制度」を運用しています。



9つの地域ルートを
認定
(2025 年 9 月現在)

地域ルートは
こちら

冬季コンテンツの発信

十勝では積雪寒冷地の特徴を活かし「自転車 × 雪」を冬季の観光コンテンツの1つとして取り組みを進めています。



凍った湖(糠平湖)上での
サイクリングツアー

協議会メンバーでの
冬季サイクリング体験

北海道のサイクルツーリズム推進に向けた取組事例

北海道サイクルルート連携協議会・北海道開発局 建設部 道路計画課 高橋直之・株式会社ドーコン 門協照

北海道のサイクルツーリズム推進

ルート協議会のサイクルルート

北海道総合開発計画 (平成28年3月閣議決定)

「世界水準の観光地」を目指し、サイクルツーリズム等の広域的な観光周遊ルートの形成を促進する。

H29～H30

自転車活用推進法 (平成29年5月施行)

「世界に誇るサイクリング環境を創出し、サイクルツーリズムを推進する」(自転車活用推進計画)

(事務局：北海道開発局・北海道)

北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会

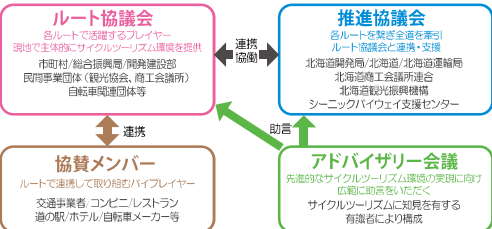
- サイクルルートの考え方
- サイクルツーリズム環境の向上策
- 持続的な取組のための体制

北海道のサイクルツーリズム推進に向けた最終とりまとめ

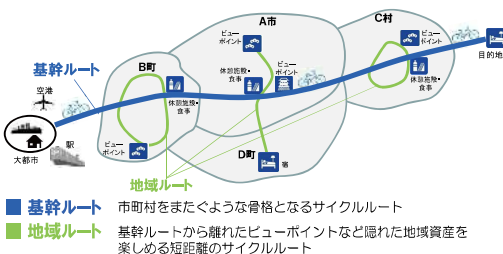
R1～

北海道のサイクルツーリズム推進方針に基づく取組

官民をはじめ多くの関係者が連携・協働する取組を展開



サイクルルートの考え方



- 国内外から来るサイクリストにサイクルルートを広く案内し、安全・安心な走行環境、受入環境、情報発信サービスを提供。
- 継続的に改善・向上し、より質の高いサイクリング環境の実現を目指す。

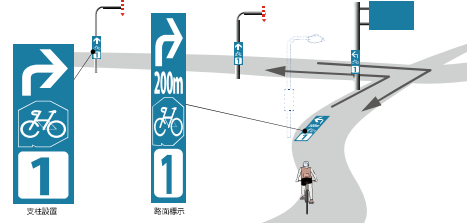


基幹ルートによる取組事例

>> 走行環境の改善

■ 自転車走行環境改善のための案内デザイン

全道で一律に整備できるようなマニュアル整備をし、統一した案内看板を設置しています。



>> 受入環境の充実

■ 休憩施設の充実

民間施設や公的施設との連携により、空港や駅、道の駅、観光施設等の休憩施設にサイクルラックや空気入れ、修理工具の設置等を進めています。また、セコマグループと北海道開発局の連携協力協定により、基幹ルート沿いのセイコマート店舗を休憩施設として案内するとともに、サイクルラックを設置。



>> 情報発信

■ ルートマップの作成(日本語)(多言語化)

ルートマップを作成し、主要施設等で配布することによりルート周知を図る。また、多言語化により、インバウンド観光客にも対応。

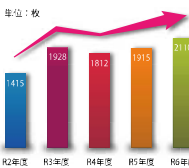


■ ルート案内看板の設置

サイクリストが迷わず安心して走行できるよう、交差点や単路部の既設道路付属物や路面等に案内サインを設置しています。



整備数(案内看板設置)

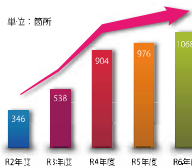


■ 路面表示(矢羽根)の設置

自転車の通行位置をサイクリストとドライバーの双方に示し、安全で快適な道路交通環境を確保するため、交差点及び急カーブ・トンネル手前の一部に矢羽根型の路面表示を設置しています。



整備数(路面標示(矢羽根))



「サイクリスト・応援カー」によるサポート

北海道内の国道や河川を巡視するパトロールカーによるサイクリストのサポートを実施しています。



サイクリスト応援カー

移動のサポート、イベント・モニターツアーの実施

周遊エリアの拡大やトラブル時の移動をサポートするため、公共交通等による輸送・荷物輸送・緊急サポート・レンタサイクルサービスについて、事業者と連携して取り組んでいます。また、地域団体と連携し、サイクリングイベントやモニターツアーも実施しています。



サイクルタクシー

バスとの連携

専用サイクルフェスタ

レンタサイクル

フォトコンテストの実施

北海道のサイクリング環境を広く周知し、サイクリストに訪れてもらうためのきっかけづくりとして、「サイクルルート北海道フォトコンテスト」を実施しています。



北海道サイクルルート連携協議会



ベスト・サイクリング・プロジェクト制度の創設

ルート協議会で行っているプロジェクトや取組を表彰し、活動のモチベーション維持・向上や道内への取組の水平展開、ルート同士の連携促進のほか、各ルートの取組のPRの機会として「ベスト・サイクリング・プロジェクト」制度を創設しました。2024年度はトカチ400の「セクション分けの検討およびPRの実施」の取組が選ばれています。



2024年度ベスト・サイクリング・プロジェクト制度の表彰の様子



福島県は、東北初の ナショナルサイクルルート (NCR)の指定を目指して、 ふくしま浜通りサイクルルートの 取組を進めています。



①「ふくしま浜通りサイクルルート」の特徴

浜通りの海や里山など、ダイナミックな自然・景観に加え、東日本大震災や原発事故による光と影を体験し、ホープツーリズム(※)が体感できる唯一のルートです。

※ホープツーリズム：複合災害の教訓等から「持続可能な社会・地域づくりを探究・創造する」福島オンラインの新しいスタディツアープログラム。

① いわきエリア

いわき七浜海道や温泉などの豊富な観光資源があるルート。いわき駅をゲートウェイとして整備。



② 双葉エリア

東日本大震災からの復興の光と影を感じるルート。



③ 相馬エリア

サムライスピリットに触れるルート。新地駅周辺をゲートウェイとして整備。



④ 阿武隈高地エリア

日本の原風景や人の温もりと優しさに触れるルート。



②主な取組内容

- ふくしま浜通りサイクルルート推進協議会設立
- 受入環境整備
 - ・サイクルステーション(休憩・宿泊) 69箇所
 - ・ゲートウェイ整備3箇所【いわき新舞子ハイツ、いわき駅、新地駅】※富岡町内でも調整中
 - ・常磐線浜通りサイクルトレインの試験運行開始!
- 常磐線浜通りサイクルトレインの試験運行開始!
- 期間：令和7年5月31日⑤～11月30日⑤の土休日 区間：いわき駅～原ノ町駅
- 走行環境整備(矢羽根整備、案内看板整備)
- 情報発信
 - ・ふくしま浜通りサイクルルートアンバサダーけんたさんのファンツアーを開催



ふくしま浜通りサイクルルート



情報WEBサイト



Facebook



Instagram

ふくしま浜通りサイクルルート推進協議会
事務局：福島県観光交流課

自転車系人気YouTube **けんたさん リンダさん**

ふくしま浜通りサイクルルートの魅力を

広く発信しています!

けんたさん
自転車系人気YouTube YouTuber、
いわき市観光大使、ライドキャ
ンペーンなどを企画した数々の動画を公開中。



リンダさん
自転車系人気YouTube YouTuber、
いわき市観光大使、ライドキャ
ンペーンなどを企画した数々の動画を公開中。



松川浦 (福島県相馬市)



自転車散歩

新しい高速道路が開通する前に、最初で最後のチャンスとなる自転車で高速道路を走行するイベントを開催しました。道路管理者である国土交通省、NEXCO、自治体等や地元の商工会等の各団体と協働し、イベント運営を行っています。参加された方は、車では走行できない道路を自転車で走行した経験は、いろいろな人に羨望されるとおっしゃいます。



矢田川自転車散歩



江南市自転車散歩



FCBがおすすめの自転車散歩書籍



Tweed Run トレスコードが「ツイード」で街を20グループで走行。ツイードを広めるため織物工場や商社が企画。今まで名古屋、一宮市、大山市、羽島市等を町おこしを兼ねる運営をFCBが担当した。

自転車イベント



市民サイクルパラダイス in 日間賀島
2002年から2019年まで毎年開催した島周辺のエンデュロ。若者が憧れ、任意の着順を優勝とした。毎回1,200名くらいが参加



URBAN XROSS
Red Bull とコラボした初のイベント。久屋大公園のコースはジャンプ台からバーム、ラダーまですべてFCBが手作りでした



市民サイクルパラダイス in きそ
緩斜面なので少し心得があれば子どもでも楽しめるダウンヒル。初心者参加も多く、楽しんでいただいた



市民サイクルマラソン in セントレア
セントレアの屋外駐車場を利用した8時間エンデュロ。現在はLCCのターミナルビルとなっている



Holy Ride
Red Bull 主催の石清水八幡宮の階段を駆け下りるダウンヒルレースを運営した



① レクチャー

ワークショップ全体の説明と調査走行には自転車のルールとマナーを守り、校舎走行するよう確認した後、調査するエリアをグループ分けして役割分担を決めます。



② 調査走行

調査走行は基本的に歩道走行だったが、法律改正後は車道と歩道の両方を走行する。気になる箇所を撮影する担当やマップに書き込む担当などグループがチームとなって調査する。



③ 基礎マップづくり

撮影した写真とメモしたマップをもとに、大きなエリアマップにFCBが用意したカードに感じたことをそれぞれ書き込み、グループ内でディスカッションして写真とセットでマップに貼り付ける。



④ 発表

各グループの代表が完成したマップの説明と走行後の感想を全員の前で発表し、他のグループからの質疑応答する。

自転車マップワークショップ



安全に通行できる道路は「青」、走りづらい道や危険と感ずる道路を「赤」で表示。実線は「車道」、破線は「歩道」と表示した

自転車マップ

地元住民の方々とマップづくりのために走行後、ワークショップを開催する方法で制作。これまでに瀬戸市、長久手市、尾張旭市をはじめ、名古屋市、日進市、豊田市、春日井市、大山市、江南市、岩倉市、扶桑町、大口町、名古屋市中心部、刈谷市を制作した。



2010年の「COP10」ではオランダ代表に「毎日の足」としてヒルトンホテルから名古屋国際会議場まで自転車を無償レンタルし、喜んでいただきました。

特定非営利活動法人
市民・自転車フォーラム
The Forum for citizens with bicycles

名古屋市中区東 1-1-27 パークサイド村本ビル
TEL 052-953-5116 FAX 052-953-4828
<https://www.jitensha.info>

鉄道×自転車で広げる、地域モビリティとしての可能性

近畿日本鉄道株式会社 創造本部観光開発・地域共創部／名古屋統括部運輸部営業課



1：背景・課題

鉄道事業者としての使命

鉄道は幅広いお客様の、様々な目的での移動を支える手段としてご利用いただけてきました。地域の公共交通としての役割はもちろん、地域経済の活性化を支える役割も担わせていただきながら、間接的に「まちづくり」に関わる存在として、安全・安心な輸送サービスの提供を最優先としながら事業に邁進しております。

公共交通が直面している課題

しかしながら、沿線人口の減少→利用者の減少→ご利用状況に応じた利便性の低下→運賃収入の減少→さらなるサービスの低下といった連鎖に歯止めがかからず、さらには利便性維持に必要な不可欠な労働力確保問題が課題の深刻さを加速させているのが現状です。二次交通の空白地帯化や、観光客回遊減少に伴う産業の衰退といった負のスパイラルが、郊外エリアの沿線各地で起こっています。

2：近鉄の伊勢志摩地域での取り組み

サイクルトレインを通年実施

〈平日〉五十鈴川～賢島（朝ラッシュ以降タラッシュまで）

〈土休日〉松阪～賢島（朝9時～夕方19時まで）

※GW・お盆・年末年始といった多客時期をのぞき通年で実施中
※運行に関する詳細はこちらから▶▶



輸送不要のイベント列車を運行

春・秋のサイクリングシーズンには大阪・名古屋から輸送不要のイベント列車を運行。サイクルラックを積載したサイクルトレイン-KettaA-を運行することで、自転車で楽しむ伊勢志摩のPRを実施しています。



通学需要への応用可能性を検証

沿線にある三重県立志摩高等学校の生徒を対象に、通学にサイクルトレインをご利用いただけるよう、事前登録制で対象列車以外の営業列車にも自転車を載せていただける取り組みを行っています。生徒への定期的なご案内とともに、ご利用ルールに関する協議を実施しています。

鉄道の弱みをポジティブ変換

時代をこえて沿線地域を支える公共交通としてあるためにはどうすべきかを模索し、これまで着地点となる駅からの移動に難があった鉄道の弱点をカバーする手段として、自転車の可能性に着目。体力の有無や自転車への造詣に関わらず利用できるルール設計をベースにしつつ、鉄道×自転車の行動範囲を最大限広げるため、伊勢志摩地域でサイクルトレインを開始しました。

伊勢志摩という歴史ある風光明媚な地域で行うサイクルトレインは、「地域の足」としてのご利用のほか、移動もアクティビティとして楽しんでいただける「観光の手段」として、選択肢のひとつになっていくことを目指しています。

駅を拠点とした「地域回遊拠点」の整備

国交省「日本版MaaS推進事業」を活用しながら伊勢・鳥羽・志摩エリアの駅前および周辺観光地にもシェアサイクルを整備し、モニターツアーなどのプロモーションとも掛け合わせながら、市町の垣根なく自転車で巡ることができると実現しています。



▶サイクルトレイン実施区間
平日
土休日
▶シェアサイクルステーション

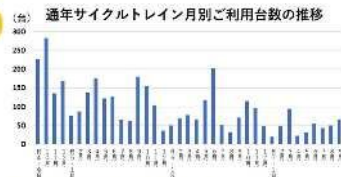
沿線地域での連携模索

太平洋岸自転車道利活用推進三重地区協議会に参加されている関係者をはじめ、今後の伊勢志摩地域における自転車利活用について忌憚のない意見交換ができる場として、ワーキンググループを発足しました。

3：ご利用状況と課題の認識

月別のご利用状況推移

全体的にご利用が減少傾向にあり、観光のアクティビティとしても、地域のモビリティとしても周知・浸透に苦戦している状況です。



自転車で行きやすい環境整備の重要性

自転車から伊勢志摩の各所をめぐる楽しみ方の情報が少なく、走りやすい道の選定や安全なルートの計画など、自転車初心者では楽しみにくい状況です。

鉄道事業者単体での取り組みの限界

本取り組みを初めて3年目を迎えますが、「移動の選択肢」として認知され、「地域の価値を高めるモビリティ」になるためには、行政や地域とともにニーズを正しく知り、目指すビジョンを描き、どのように実現するかを具体的に協議していくことが肝要であると痛感しています。

4：今後の展望

①鉄道×自転車の「日常化」

地域における移動に関する課題を分析し、移動サービスのニーズを知ることで、鉄道×自転車の活用方法やルールのあり方をブラッシュアップしていく必要があります。「あったらいいな」を掲げることで、新しいモビリティを日常生活の「あたりまえ」の風景になることを目指します。

②行政・地域と連携した環境整備

自転車が安全・安心に走行できる環境の実現に向け、道路管理部門・観光振興部門の両者と連携しながら以下の取り組みの推進を目指します。

ソフト面

- ・回遊ルートを選定し、推奨ルートとして発信
- ・地域住民への自転車走行に対する意識づけ、
- ・自転車乗車時のマナー啓発

ハード面

- ・自転車ネットワークエリア・路線を設定し、優先度に応じた実施計画の策定
- ・自転車専用通行帯や歩道横断歩道標示等の整備

③データ活用による利用実態の可視化

シェアサイクルの利用動向、途中経由地などを一部近鉄電車ご利用データと掛け合わせてグラフ表示することができるとのBIツールの開発および自治体やDMO等と共に閲覧できる環境整備を進めています。

5：目指す未来像

行政・住民・企業が協働して創る、
“持続可能な地域モビリティ”

本取り組みは、地域を訪れる方々の観光満足度だけでなく、地域で暮らす方々の生活満足度のいずれもが満たされていくことを目標としています。自転車は、車での移動では見過ごしていたかもしれない地域の魅力を、改めて見つけるのに最適な移動手段です。自然豊かで奥深い観光資源をあますところなく楽しんでいただくための環境整備として、そして、ますます課題の多い二次交通の課題解消の手段として、今後も鉄道×自転車の新たなモビリティの提供に取り組み、地域の移動を支えるプラットフォームとなれるよう努めてまいります。

ナショナルサイクルルート 「ビワイチ」を活用したまちづくり(大津市)

大津市環境政策課 | 杉本 和奏

株式会社きゅうべえ | 谷口 創太

背景

「ビワイチ」(琵琶湖一周サイクリング)が第一次ナショナルサイクルルートに指定され、「ビワイチ推進条例」が制定・施行された背景から、滋賀県下の各市町村ではビワイチの取り組みを加速させています。大津市はビワイチの発着点になっており、官民連携で自転車を活用したまちづくりを進めています。令和4年4月に大津港サイクルステーション(ゲートウェイ施設)を開設、令和6年6月からシェアサイクル導入実証事業を実施。



大津港サイクルステーション



主管 | 大津市観光振興課 指定管理事業者 | 株式会社きゅうべえ



令和4年4月に大津港旅客ターミナル内にゲートウェイ施設として大津港サイクルステーションを開設。

レンタサイクルとして、約300台のスポーツバイクを保有しております。

ビワイチの出発地点としての役割にとどまらず、市民、観光旅行者の利便性の向上や自転車を活用した観光周遊の促進を目的としています。



▲サイクルシップツアー



▲インバウンド観光客向けツアーパンフレット



▲ビワイチ商品

サイクルシップ、途中返却、ビワイチ商品開発、ライドイベント、子供向け自転車教室、試乗会、旅行会社との連携等の施策を実施。国内外から積極的に利用者を誘致。

シェアサイクル導入実証事業

主管 | 大津市環境政策課 協働事業者 | 株式会社きゅうべえ



令和6年6月からは、2050年のゼロカーボンシティの実現に向けて「エコ移動」の普及を図ることを目的に、シェアサイクル導入実証事業を実施しております。

電動アシスト自転車によるシェアサイクル事業を50ポート(令和7年9月末時点)で展開しております。

環境負荷軽減だけでなく、観光客の利便性向上等、副次的な効果も見込んでおります。



▲観光大使を活用したプロモーション

大津港サイクルステーション(ゲートウェイ施設)との連携、観光大使を活用したプロモーション、地元金融機関と連携した周遊マップの作成、鉄道との連携等、地域と連携した運営。

若狭湾サイクリングルート（わかさいくる）の取り組み

若狭湾サイクリングルート推進協議会

桑原景子、定友敦、中村駿兵、岸野祐二郎、福井工業大学 吉村矩矩

「若狭湾サイクリングルート（わかさいくる）」とは

つるが わかさ うみ
「敦賀若狭の海湖を楽しむ！！」

JR敦賀駅からJR若狭高浜駅までの6市町を結び、
主要観光地を巡る総延長126kmのルート



名古屋 から電車で 1時間40分！
東京 から電車で 2時間50分！
大阪 から電車で 1時間20分！

今年度はここに力を入れています！



ルート案内をより分かりやすく！

サイクリストから寄せられた声をもとに、間違えやすい場所に看板や矢羽根を追加



インバウンドの受入強化！

外国人サイクリストを対象としたモニターツアーを実施



事業者による環境整備を支援！

事業者が行う、工具やレンタサイクル等の購入、自転車イベントの開催を補助金で支援

わかさいくると地域の「連携」

警察・自動車学校との連携

- ✓ 家族で自転車の安全な楽しみ方を身につけてもらう「自転車教室 & サイクリング」イベントを開催
- ✓ 警察署と自動車学校と連携し、自転車ルールの説明、クルマの死角の確認などを実施



警察官による説明



バトカーに乗って死角を学ぶ



自動車学校のコース内で練習



車からの死角が分かった事と、左側通行の理由を知る事ができた事が良かった。



長距離を走ってみたいので、車が多いところを走る時のポイントや、青切符の対象となる行為などを周知してほしい。



みんなで市内をサイクリング

市町間の連携

- ✓ わかさいくる沿線の各市町で10～20kmのサイクリングを楽しんでもらう「自転車を楽しむ会」を開催（R4～）
- ✓ 今年度は各町の観光協会が連携して、2町にまたがるコースで開催（おおい・高浜ルート25km、ゴコイチ35km(予定)）



おおい町の田園風景



和田ビーチ沿いをサイクリング



高浜町・明鏡洞で記念撮影

レンタサイクルも充実！

今年度はわかさいくるの拠点として「高浜ゲートウェイ」がオープン！
敦賀・若狭6市町ではE-bikeやロードバイクを借りることができるレンタサイクル拠点も充実。



他県との連携

- ✓ 福井・石川・富山の北陸3県を巡るデジタルスタンプラリーを実施（R5～）
- ✓ サイクリングしまなみ、サイクルモードライド大阪で北陸3県で共同PR（R6）
- ✓ 福井県と滋賀県をつなぐモニターツアーを実施（R6）
- ✓ さいたま市サイクルフェスタでわかさいくるをPR（R6）



福井・滋賀モニターツアー



サイクルモードライド大阪

大学との連携

- ✓ 福井工業大学の学生が敦賀・若狭地域における観光まちづくりの観点からわかさいくるを活用したプロジェクトを提案
- ✓ マスコットキャラクターの試作提案、学生視点のガイドブック作製等を行い、地域の活性化に寄与



学生とのディスカッション



わかさいくるを実走調査



オリジナルマスコットキャラクター

地域の事業者でもわかさいくるの活用が進んでいます！

- ✓ わかさいくるのロゴマークを使った商品の開発・制作・販売
- ✓ 原子力発電所の廃材を活用したサイクルスタンドの製作



わかさいくる缶バッジ



敦賀名物「かたパン」



わかさいくるキーホルダー



わかさいくるサイクルスタンド

ホームページ・SNSで
情報発信中！

詳しくは
こちら

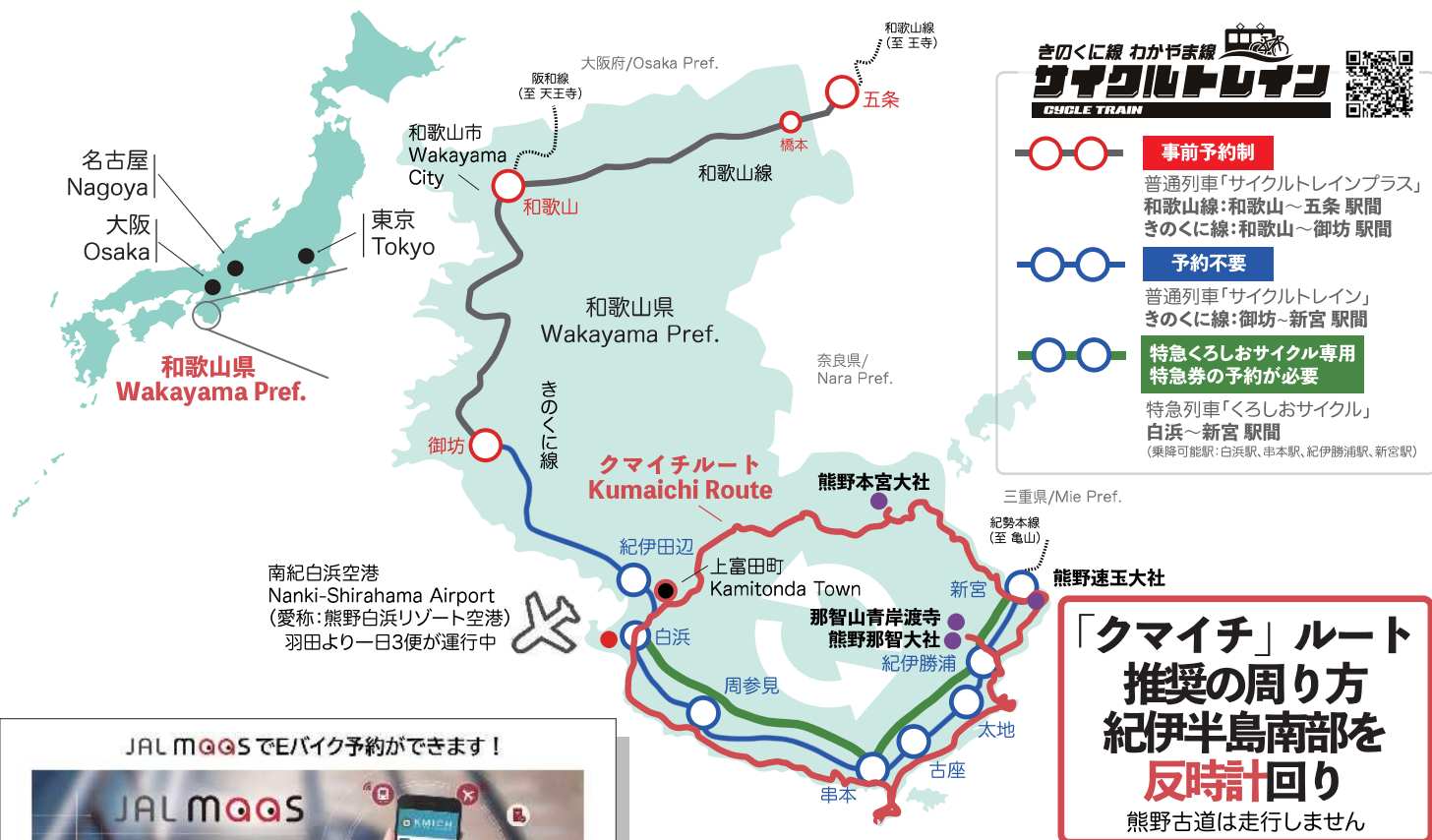


自転車で熊野を一周「クマイチ」と一次交通事業者との連携

紀南エリアサイクルツーリズム協議会（和歌山県）

自転車移動は結節点

一次交通のスキマを埋めて目的地までのタイムロスを少なくする



JAL MaaSでEバイク予約ができます！

JAL MaaS

JAL MaaSでは電車、路線バス、高速バス、飛行機の乗り換え案内サービスを提供しています。また、Eバイクの予約・購入も可能です。

南紀白浜から景色楽しむ自転車旅！さらに！10マイルたまる！

上富田・すさみ・南紀白浜空港・古座川・JR駅（紀伊田辺・白浜）エリアのEバイクのオンライン予約が可能です。

南紀白浜空港・JR駅（紀伊田辺・白浜）をご利用の方には、空港・駅までの車両のお届けサービス（有料）も行っております。

料金

- レンタル料：3,500円
- お月料：2,000円（貸し出し期間による/取寄せ金払い）
- 月次料：2,000円～（貸し出し期間による/取寄せ金払い）

積算マイル

1台予約につき10マイルがたまります。

本マイルはJAL MaaSから貸し出し予約時に付いて、2025年3月31日まで有効です。また、JAL MaaSから購入したEバイクは、2025年3月31日まで有効です。

今すぐ予約

ご予約締切：前日17時まで

JAL MaaS

JAPAN AIRLINES

クマイチ

～自転車で熊野を一周～

クマイチ スタンプラリー

～自走で熊野を一周～

上富田・すさみ・南紀白浜空港・古座川・JR駅（紀伊田辺・白浜）エリアのEバイクのオンライン予約が可能です。

南紀白浜空港・JR駅（紀伊田辺・白浜）をご利用の方には、空港・駅までの車両のお届けサービス（有料）も行っております。

お問い合わせ

紀南エリアサイクルツーリズム協議会
〒649-2621 和歌山県西牟婁郡すさみ町周参見481-14
すさみ町観光案内所FRONT110内

（一社）紀州くちまの未来創造機構
上富田サイクルステーションKUMICHI
〒649-2105 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来2538
上富田町産業振興・文化交流館内
電話：0790-5540-4116
kumichip
kumichikuchikumano@gmail.com

QRコード

kumichip

KUMICHI.FACEBOOK

INSTAGRAM

日本航空 JAL MaaS との連携
一度の予約で空港からサイクリング！
(2024年12月～)

時空散走 iwalki

COMMUNITY CYCLE TOURISM
コミュニティ・サイクル・ツーリズム

いわきの多彩な地域文化、歴史、風土、物語を
体感し、語り合い、遊び、楽しむ
時空をめぐる散走、自転車の旅

いわき時空散走事務局 寺澤亜彩加・井上葉里

「いわき時空散走」は、いわきの万華鏡のような百花繚乱の地域文化を、参加者の皆さんと一緒に体感し、語り合い、遊び、楽しもうという**日本初の「コミュニティ・サイクル・ツーリズム」**です。

自転車普及における福島県いわき市の課題

2020年国勢調査の自転車のみの都道府県別順位

自転車のみでの利用トップは大阪府で96.33%
福島県は458位(注:札幌市は除外)

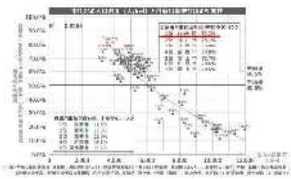
都道府県	割合	順位	都道府県	割合	順位
1 大阪府	96.33%	1	27 山梨県	4.41%	47
2 東京都	94.73%	2	28 新潟県	4.39%	48
3 滋賀県	94.73%	3	29 富山県	4.38%	49
4 京都府	94.73%	4	30 石川県	4.37%	50
5 兵庫県	94.73%	5	31 福井県	4.36%	51
6 奈良県	94.73%	6	32 岐阜県	4.35%	52
7 和歌山県	94.73%	7	33 静岡県	4.34%	53
8 徳島県	94.73%	8	34 愛知県	4.33%	54
9 高知県	94.73%	9	35 岐阜県	4.32%	55
10 香川県	94.73%	10	36 長野県	4.31%	56
11 愛媛県	94.73%	11	37 山梨県	4.30%	57
12 高松市	94.73%	12	38 山梨県	4.29%	58
13 福岡県	94.73%	13	39 山梨県	4.28%	59
14 佐賀県	94.73%	14	40 山梨県	4.27%	60
15 大分県	94.73%	15	41 山梨県	4.26%	61
16 熊本県	94.73%	16	42 山梨県	4.25%	62
17 鹿児島県	94.73%	17	43 山梨県	4.24%	63
18 沖縄県	94.73%	18	44 山梨県	4.23%	64
19 北海道	94.73%	19	45 山梨県	4.22%	65
20 青森県	94.73%	20	46 山梨県	4.21%	66
21 岩手県	94.73%	21	47 山梨県	4.20%	67
22 宮城県	94.73%	22	48 山梨県	4.19%	68
23 秋田県	94.73%	23	49 山梨県	4.18%	69
24 山形県	94.73%	24	50 山梨県	4.17%	70
25 福島県	94.73%	25	51 山梨県	4.16%	71
26 茨城県	94.73%	26	52 山梨県	4.15%	72

出典: 2020年国勢調査の自転車のみでの利用(都道府県別)

- ・自転車普及率と自転車利用人口率に関するデータを比較した結果、自転車普及率が高いエリアほど自転車利用人口率が高く、自転車利用人口率が高いエリアほど自転車利用人口率が高い傾向が見られる。
- ・自転車普及率が全国ワースト6位の福島県、また本県の中心市街地でも自転車普及率が高いのが実情の現状。

市街地の人口密度と自転車利用人口率の相関性

いわき市は自転車利用人口率が高く、中心市街地でも自転車利用人口率が高い



いわき時空散走実績 参加者数の推移と参加者総数

いわき時空散走フェスティバルごとの参加者推移



総参加者数

616 名

市内

522名

県内

10名

県外

84名

県外参加者の都道府県詳細

宮崎県・兵庫県・大阪府・奈良県・
長野県・埼玉県・神奈川県・東京都
千葉県・茨城県・北海道

いわきの百花繚乱さを見る化する「いわき時空散走マップ」



超初心者向け、日本最弱・世界最弱のサイクルツーリズム

POINT

超！初心者向けのコース設定

- ・自転車利用の初心者でも安心して参加できるようなマップは10km程度の距離で設定。
- ・ツアーでは毎回コースを案内しながら、お土産を、各ポイントで止まり、話しながら、3時間~4時間かけて走行。
- ・平均時速は2~3km/h。
- ・ママチャリ・軽便自転車も歓迎！

いわき時空散走は、
**日本最弱・世界最弱の
サイクルツーリズム！**

いわき時空散走を担う「サポーター」の特徴と役割



POINT ①

サポーターの特徴

- ・サイクリストではない
→ いわき時空散走がきっかけで40年ぶり、自転車に乗るようになった方。
- ・地域で活動している皆さん
→ 地域・コミュニティづくり、子育て支援

POINT ②

サポーターの役割

- ・ガイドではなく「サポーター」
→ サポーターはツアーに参加する皆さんの話を聞き、楽しく「聞き役」で、参加者の安全を確保していく。

いわき時空散走意章

1. 時空散走は日本初のコミュニティ・サイクル・ツーリズムです
2. 時空散走はコミュニティ、地域、地元の人たちの参加を主目的とする「地産地消の観光」「内需の観光」です
3. 時空散走は「駅」「バス停」など公共交通機関を出発地点としてツアーを組み立てます
4. 時空散走のツアーは約10キロ以内でウォーキングでも可能な範囲に設定します
5. 時空散走はツアー資料として地域の歴史、文化、観光を可視化（見える化）するイラストマップを作ります
6. 時空散走のツアーは参加者がガイド役となり、まち、地域、地元と自分の関わり、ご縁、思い出などを語り、それを全員が共有するツアーにします
7. 時空散走のツアーには地元ゆかりのあるサポーターが同行し、ツアー参加者の話を促すファシリテーター、聞き役を務めます
8. 時空散走のツアー参加者は自転車の初心者者を想定して、普段、自転車に乗っていない人の参加を大歓迎します
9. 時空散走は地域愛、地元愛、郷土愛を育むツアーです
10. 時空散走はオープンフリー、オープンソースで、このツアーシステムは日本全国各地、いつでも、どこでも、だれでも自由に展開することが許されています

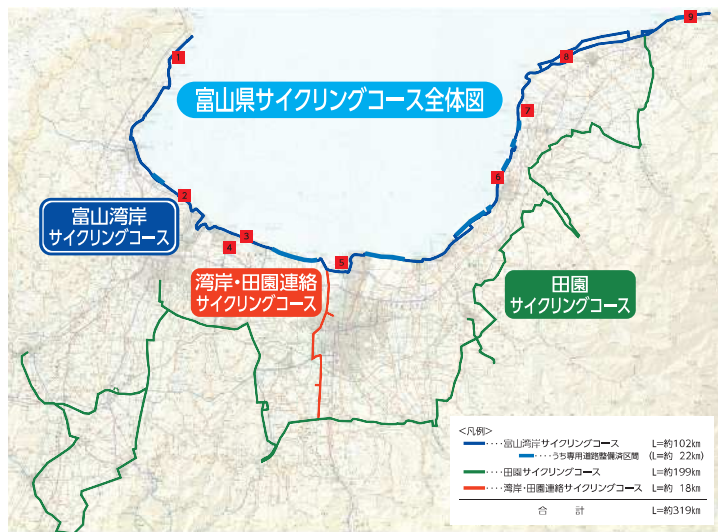
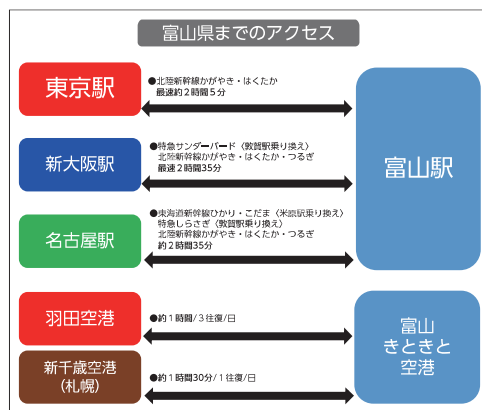
富山湾岸サイクリングコースについて



「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟した富山湾を眺めながら湾岸沿いに富山県を横断する全長約 102 キロのコース。

富山湾の絶景とグルメを楽しむサイクルイベント「富山湾岸サイクリング」も開催しています。

令和3年5月に第二次ナショナルサイクルートに指定されました。



情報発信の強化

- Webサイトを活用した発信
公式サイト「とやまサイクルナビ」では、コース紹介のほか、レンタサイクルやサイクリストに優しい宿、イベント情報など幅広い情報を提供。



- PR動画の作成・公開



- サイクリング専門誌とのタイアップ



- 富山湾岸サイクリングコースロゴマーク作成



- 県外イベントでのPR活動



イベントの開催・支援

- 富山湾岸サイクリング

2021年5月にナショナルサイクルートに指定された富山湾岸サイクリングコースを走行。富山湾と立山連峰が織りなす絶景と、富山県が誇る美食を堪能できる大会。

【2025大会（第11回）実績】

開催日：令和7年4月20日（日）

メイン会場：海王丸パーク

参加人数：1,257名（うち県外707名[56.24%]）

富山ならではの食材を使ったエイド食でサイクリストたちをおもてなしします！



- 富山県自転車活用推進事業費補助金

富山県自転車活用推進計画※に記載された施策の推進に資する事業に対する補助

- ※【目標1】 自転車にやさしい都市環境の形成
- 【目標2】 自転車を生かした健康づくりの推進
- 【目標3】 サイクルツーリズムの推進
- 【目標4】 安全で安心な自転車社会の実現

▼令和6年度実績（一部）紹介



【事業名称】
 異業種の壁を越えて！ワンチームで富山湾岸サイクリングコースを周遊型にする観光創出事業
 【事業者名】
 TOYAMAサイクルツーリズム推進協議会
 【事業実績】
 富山湾岸サイクリングコースを活用したモデルコースやサイクルツアー造成を行い、有識者（サイクリスト・観光関係者）を交えてモニターツアーを実施。ツアーガイド育成のため、県登録通訳案内士をツアーに同行させることで、インバウンド対応も視野に入れた取り組みができた。

モニターツアーの様子▶



アワイチ (淡路島一周サイクリングルート) の取り組み

【発表者】

兵庫県 淡路島民局 洲本土木事務所
企画調整・大鳴門橋自転車道担当
立花 篤
松田 明香
木村 慎

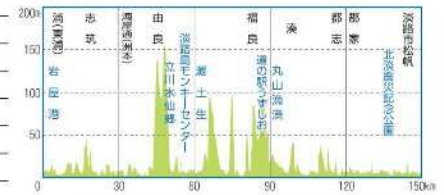
① サイクルツーリズムの推進

淡路島一周の「アワイチ」が人気を集める中、地域活性化を目的に関係機関が連携し、走行環境や受入体制の整備を進めています。「アワイチ推進プログラム50」に基づき、ナショナルサイクリングルートの指定も視野に入れ、淡路島の魅力発信と交流人口の拡大を図っています。



② アワイチ (淡路島一周サイクリングルート) の概要

延長	150km
最大標高差	156m
獲得標高	約1200m
最急勾配	約10%
進行方向	右回り(海側車線を走行)
所用時間	約10時間



③ より快適にアワイチを楽しんでいただくために

走行環境整備



【側溝ふた掛け】
側溝のふた掛けにより、路肩幅を確保



【ゆっくりのんびりサイクリング】
後続車を一時的にさけるための待避所を整備



【矢羽根型路面標示設置】
車道に自転車の通行位置を示して、自動車に対して注意喚起



【路肩拡幅】
福良江井岩屋線の路肩拡幅(法起こし)



【路肩拡幅】
福良江井岩屋線の路肩拡幅(法起こし)

サイクリスト向け情報提供



【距離標】
おおむね5kmごとに設置



【ルート案内】
令和7年度に案内標識・路面表示等を増設



【コース案内看板】



【コース情報看板】



【マナー啓発看板】

【注意喚起看板】

サイクリスト受入環境の整備



【サイクルステーション】
飲食や充電ができ、修理器具の貸し出し等も行う休憩施設を整備



【ゲートウェイ】
ナショナルサイクリングルートの必須機能を備えたゲートウェイを整備

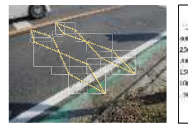


【サイクルラック】
交通拠点、休憩箇所に整備

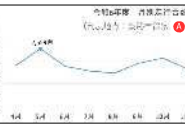


【フォトスポットの整備】
各市に1か所ずつ整備
現在、3箇所目の工事中

利用実態の把握



【自転車通行台数の観測】



島内3箇所(淡路市A・洲本市B・南あわじ市C)で自転車通行台数の常時観測を実施
常時観測により、3箇所の通行台数や月ごとの推移等を把握することが可能

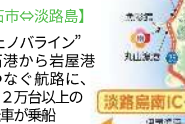
島外との自転車交通手段の確保



【明石市⇄淡路島】



【明石市⇄淡路島】
明石港から岩屋港をつなぐ航路に、年間2万台以上の自転車が乗船



【淡路島南IC⇄PA】



【淡路島南IC⇄PA】



【淡路島南IC⇄PA】



【淡路島南IC⇄PA】



【淡路島南IC⇄PA】



【淡路島南IC⇄PA】



【大阪府⇄淡路島】



【大阪府⇄淡路島】
大阪府の深日港と洲本港を40分でつなぐ航路に自転車乗船可能



【徳島県⇄淡路島】



【徳島県⇄淡路島】
徳島市と南あわじ市をつなぐ路線バスに自転車の積載が可能
(自転車積み込みに係る費用は無料)



【徳島県⇄淡路島】



【徳島県⇄淡路島】



【徳島県⇄淡路島】



【徳島県⇄淡路島】

イベントの開催



【淡路島ロングライド150】



【淡路島ロングライド150】
令和7年度は今秋と来春の2回開催
今秋は9月15日(月・祝)に開催、来春は3月下旬開催予定



【アワイチ反射ステッカー】



【アワイチ反射ステッカー】
その年限定のデザインを配布



【他県との連携】



【他県との連携】
「サイクルボール」にて、「アワイチ・アワイチ連携キャンペーン」を開催



【他県との連携】



【他県との連携】

大鳴門橋自転車道の取組み



【大鳴門橋自転車道の取組み】



【大鳴門橋自転車道の取組み】



【大鳴門橋自転車道の取組み】

【大鳴門橋自転車道の取組み】
兵庫県と徳島県の共同事業として、大鳴門橋の桁下空間を活用し、総延長1,799mの新たな自転車道を整備中

徳島大学サイクルツーリズム講座

サイクルツーリズムを担う人材育成 地域のつながりづくり
(オルグウェアの実践) “Local to Locals”

講座がめざすもの

北海道で自転車ガイドツアーのビジネスの先駆的な取り組みをしているアーチヒーロー北海道の高橋幸博氏をメイン講師に迎え、サイクルツーリズムをマネジメントする人材の育成を目指して、様々な地域の方々とつながりを創出します。



出前講座も多数請け負っています。2025.3.28 台湾・中華大学にて



徳島大学フューチャーセンターA.BA 2025.9.8 中華大学張教授

2027年度 徳島と淡路島を
つなぐ大鳴門橋自転車道完成



徳島大学サイクルツーリズム講座in徳島

(令和7年度第2回) 参加者募集中

本年度2回目のサイクルツーリズム講座では、元F1レーサーの片山右京氏をお迎えして、サイクリストでもある氏と取り組んでおられるツールドフランスへの挑戦、自転車を楽しむ環境づくりへの提言などをお聞きして、サイクルイベントを活用した地域づくりについて深堀します。オンライン配信しますが、現地では交流会も開催しますので、対面参加をお待ちしています。

日時 11月7日(金) 15時—18時
場所 徳島大学フューチャーセンター A.BA
<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccell/kana/aba/>

話題提供 片山右京氏

ツールドフランスへの挑戦、
自転車を楽しむ環境作りへの提言

トークセッション

北海道アーチヒーロー：高橋幸博氏
徳島大学：矢部拓也教授
片山氏を交えて、サイクルツーリズム
イベントの活用についてトークします。

交流会

濱西シェフの徳島地元野菜の軽食と飲み物
チーム右京グッズの抽選会、販売



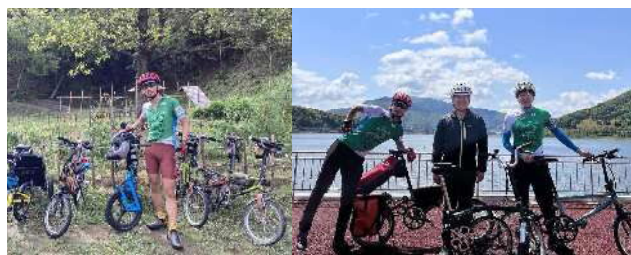
高橋幸博：株式会社アーチ・ヒーロー北海道

北海道ニセコにて国内外のサイクリング、スキーツアーの企画セールス、受入ガイド事業を運営。全国の体験観光、インバウンドの受入推進協議会の事業アドバイス、人材育成等実施。国交省NCR選考委員、地域プロデューサー、プロガイド、コーディネーター。



矢部拓也：徳島大学

地域社会学が専門、中心市街地活性化・まちづくり。インバウンド観光の研究に冬のニセコに、高橋幸博氏と出会い、サイクルツーリズム研究開始。サイクリスト



山中英生：徳島大学

都市交通計画・交通工学専門、自転車の安全、歩行者との共存条件に取り組む。国交省NCR選考委員、各地の自転車活用推進計画策定委員



参加登録 右フォームからお願いします。
11月3日(月) 24時まで
<https://forms.gle/xpSJr7q2bk35E9Ti8>



参加できない方も登録ください。次回以後お知らせします。

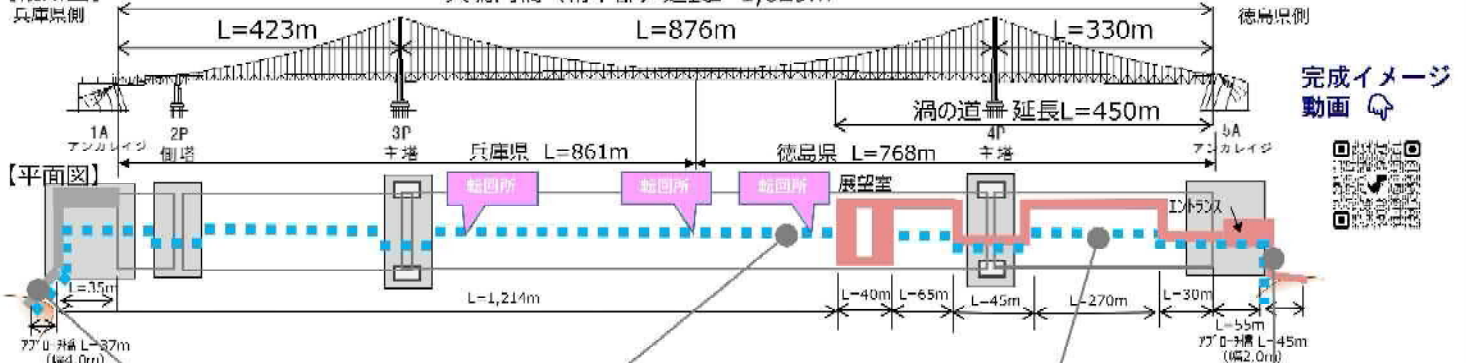
「大鳴門橋自転車道」について



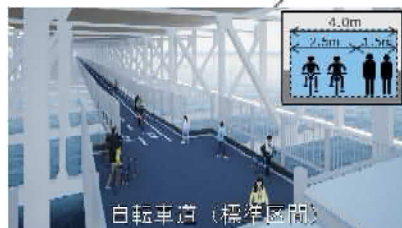
施設概要

【縦断図】
丘底側

大鳴門橋（桁下部）延長=1.629m

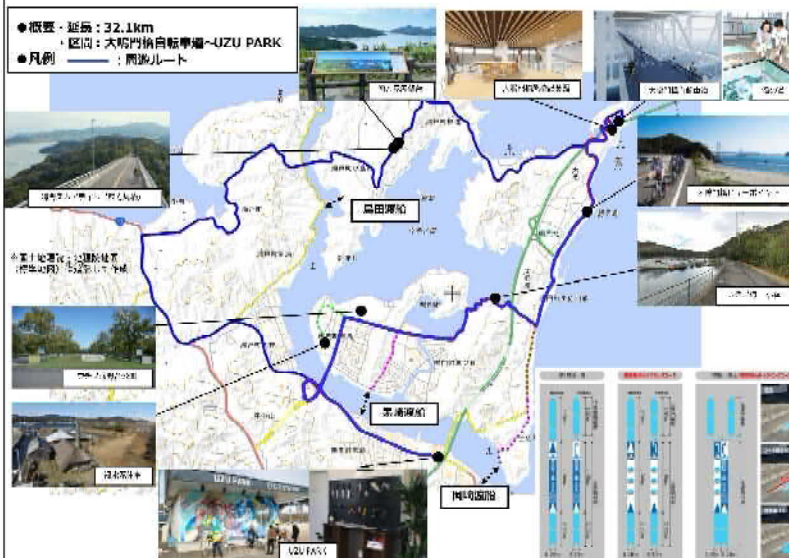


完成イメージ
動画 



周遊ルートの整備

- 概要・延長：32.1km
・区間：大崎門前自転車道～UZU PARK
●凡例 ：周遊ルート



開通に向けた機運醸成

大阪・関西万博会場における大鳴門橋自転車道のPR

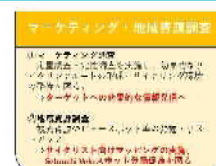
大田区橋田陸市川川原を昇龍え、令和7年9月27日（土）から29日（日）の3日、人数・関与万博会場内において、徳島県のリサイクル・システムのPRを実施



大塚門橋自転車道が完成したら行ってみたいが、
歴史アンケートお寄せ中



Road to 白根車王国とくしまプロジェクト（令和7年度事業）



地域資源を活用したサイクルツーリズムと産業振興 ー徳島ミニベロアドベンチャーツーリズムの試みー

眞鍋祐樹 (Blue Cycle Labo 代表/徳島大学大学院・前期博士課程) 萬川奨 (萬川企画・代表/映像クリエイター)
矢部拓也 (徳島大学総合科学部・教授 yabe.takuya@tokushima-u.ac.jp)

〈これまで7回実施〉フルアテンド付きツアーのコンテンツをつくるモニターツアーを徳島県吉野川市、海陽町市、徳島市で実施

ミニベロアドベンチャーツーリズムサミット参加メンバー

フルアテンド付きのサイクル×アドベンチャーツアー
ディーラーズミーティングの誘致



自転車店の店主向け
自転車メーカー向け



「Trip四国の川の案内人」と連携して開発
<https://trip-yoshinogawa.com/>



徳島ミニベロアドベンチャーツーリズムサミット

業界関係者のみを誘致してフォールディングバイクやミニベロの使い方を共有。他のアクティビティと組み合わせ、新しいライフスタイルを創造したり、それぞれの文化を共有する空間を演出して新たな価値を創造したり、考えたりする時間。

自転車・パーツ・アパレル・雑誌・アウトドア用品・カヤック等の各メーカー業界関係者の開発中の商品・新商品のスペックテストを兼ねることも可能。サミットを通じて、各メーカーの新商品のアイデアが生まれたり、モノづくりのきっかけとなり徳島の自転車の聖地化、自転車産業の構築を目指す。

第1回ミニベロアドベンチャーツーリズムサミット
2023年6月3日ー4日 吉野川カヤック×剣山



ツアー動画

第2回ミニベロアドベンチャーツーリズムサミット
2023年8月14-16日 阿波踊り×釣り



ツアー動画

第3回ミニベロアドベンチャーツーリズムサミット 2024年4月6ー9日(6,7日試走会)

参加者) ミニベロ自転車メーカー、Pacific Cycles Japan(birdy) 大川社長、kadowaki coating 吉岡社長、タイレル廣瀬社長、渋谷さん

第3回ミニベロアドベンチャーツーリズムサミットはPacific Cycles Japanの撮影も兼ねて実施。そのため、ツアー動画はPacific Cycles Japanが製作、youtubeチャンネルで公開。2024年秋に開催される徳島でのディーラーズミーティングの広報の役割も果たしている。

Pacific Cycles Japanのyoutubeチャンネルでの動画



ミニベロ アドベン
チャー ツーリズム
サミット2024in
Tokushima ショー
ト



ミニベロ アドベン
チャー ツーリズム サ
ミット2024in
Tokushima Day1 (25分
23秒: 1202→1452回視
聴)



ミニベロ アドベン
チャー ツーリズム サ
ミット2024in
Tokushima Day2 (16分
59秒: 4815→5394回
視聴)



Pacific Cycles Japan ディーラーズミーティングin徳島 2024年11月12-14日

参加者) Pacific Cycles Japan(birdy)の全国のディーラー17社 (19名)
コロナ以前は沖縄で開催されたこともあったが、今回は徳島で開催。
次回(本年度)は台湾で開催予定

【行程】1日目(11月12日) 夕方: ウェルカムparty (阿波踊り)
2日目(11月13日) 午前中: 一番札所霊山寺よりお遍路ライド。轟竜
瀑院竜王寺の住職(サイクリスト)によるレクチャーと参拝。吉野川
市のアワガミファクトリーによる藍染めの御朱印張。上り坂がきつい
札所(第4番大日寺)はパス(1,2,3,5,6,7,8番熊谷寺は任意で仁王門
まで行きダウンヒル、9番札所法輪寺がゴール)。その後、善入寺島
(日本最大の中洲)の潜水橋のたもとでアウトドアガイドの牛尾氏に
よるキャンプランチと地元食材を使ったお弁当、テントサウナ、カ
ヌー体験。夕方は、大畠酒造で梅酒試飲(吉野川市美郷は梅酒特区)。
夕食は地元のリノベーションスペースで地元の濱西シェフによる徳島
の海産物、食材を使った料理パフォーマンス(出張シェフ)
3日目(11月14日) 午前中: PCJのセミナー、眞鍋・矢部(報告者)
のプレゼン、昼食を地元の飲食店で食べて解散

【自転車産業振興に向けて】サミットからの発展として、四国一周特化一
周特化型のTMB(ツーリングマウンテンバイク)をメンバーの協力
のもと台湾&日本で製作中



TMB ツーリングマウンテンバイク 四国一周特化 フルチタン
台湾でフレーム溶接 組み立てを徳島 Assembled in TOKUSHIMA



ツアー動画



スタート: 一番札所 霊山寺

ゴール: 吉野川市セントラルホテル
(14日セミナー会場)



キャンプランチ

阿波踊り



日本最大の中洲 善入寺島

出張シェフ



ゆきぐに うおぬま

雪国魚沼GoldenCycleRoute とサイクリングイベントのご紹介

湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会

●雪国魚沼GoldenCycleRouteとは？

新潟県中南部に位置する湯沢町・南魚沼市・魚沼市内にて、「日本の原風景」ともいえる田園地帯、集落、美しい溪流沿い、丘陵地帯などをめぐる約190kmのサイクルルートです。比較的平坦で交通量が少ない道路をルートにしているため、誰もが安全快適に、自動車を気にせずサイクリングが楽しめる「世界水準」(*)のルートとなっています。

【ルートのポイント】

安全快適な通行環境

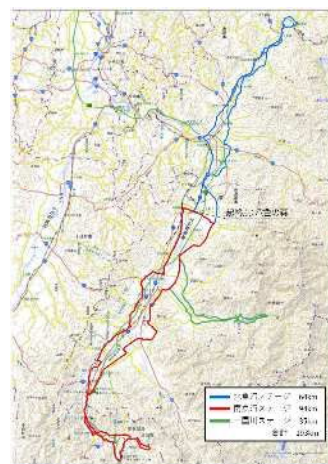
- ✓ルートの8割は県道・市町村道・農道等
- ✓幹線道路でも路肩の幅が広く、初心者でも安心(自動車交通量が1万台/日を超える区間はわずか1%弱の1.6km。このうち0.8kmには自転車道整備を計画しています)

初心者から上級者まで誰もが楽しめる

- ✓勾配やルートの特性などに配慮して区間を3つのセクション(ステージ)を設定。初心者から上級者まで楽しめます。
- ✓鉄道駅へのアクセスがおおよそ10~20kmごとにあることからサイクリストのスキルに応じた走行が可能。

海外からの受け入れ態勢も構築

- ✓冬季には海外からの多くのスキー客を受け入れている地域であり、周辺宿泊施設等とも連携することで、欧州はじめ世界各国からの来訪者のニーズにも応えられるルートとなっています。



※フランスDGE (Direction générale des Entreprises 経済・財務・産業・エネルギー・デジタル主権省 企業総局) が設定するサイクリングルートの難易度評価 (Cotation de la difficulté des itinéraires de tourisme à vélo) による評価を当てはめると、誰でも走れる「とても簡単 (Très Facile)」または「簡単 (Facile)」がほとんどですが、三國川ステージのダム湖周辺、北魚沼ステージの守門~入広瀬付近のみ一般サイクリスト向けの「難しい (Difficile)」と評価されます。

※この評価はセクションの延長、交通量や整備形態、勾配、獲得標高などで評価されるものです。

●サイクリングイベントなど地域での機運醸成

雪国魚沼Golden Cycle Routeが設定される南魚沼市では、「南魚沼サイクルフェスタ」として、JBCF南魚沼クリテリウムやロードレースに併せて南魚沼グルメライドなども開催。地域と一体となった機運醸成を進めています。

■南魚沼グルメライド



■JBCF南魚沼クリテリウム・ロードレース



■JBCF南魚沼クリテリウムパレード





岩手県広域サイクリングルート

～ ナショナルサイクルルート

指定を目指して～



わんこきょうだい岩手の名物「わんこそば」をモチーフにしたキャラクターです。

岩手県広域サイクリングルートの概要

岩手県県土整備部道路環境課
岩手県立大学総合政策学部

岩手県では岩手県自転車活用推進計画を策定し、**自転車を活用した観光振興等を促進**するため、本県の地域特性を生かした**岩手県広域サイクリングルート**(以下「広域サイクリングルート」という。)を整備していくこととしています。

有識者等で構成される検討会議を経て、**令和6年3月に、ルートを設定**しました。4つのルートの**総延長は約1,340km**で、**東北6県の基幹ルートでは本県が最長**となります。今年度は、**岩手県立大学と協力しながら協働研究**に取り組んでいます。

■ 広域サイクリングルートの魅力

写真出典：岩手県観光協会

いわて森の風ルート(約420km)

酪農や広大な高原からの景色、歴史的な文化財を楽しむルート



小岩井農場まきば園(滝沢市/平石町)



御所野遺跡(一戸町)

いわてイーハトーブルート(約290km)

美しいまち並みや文化を楽しみながら、水辺と名湯をめぐるルート



岩手銀行レンガ館(盛岡市)



盛岡湯(一関市)

いわて三陸しおかぜルート(約320km)

三陸沿岸の景色と海産物の宝庫を楽しむ、復興・伝承を学ぶルート



浄土ヶ浜(宮古市)



奇跡の一本松(陸前高田市)

いわて歴史遺産探訪ルート(約310km)

歴史文化を伝える世界遺産と四季の彩りをつなぐルート



毛越寺(平泉町)



横野鉄鉱山(釜石市)

■ サイクルツーリズムに関するいわて花巻空港での台湾人向け調査

◆ 調査の概要

令和7年9月6日、17日、**いわて花巻空港**の台湾便を利用する**台湾人の方**を対象に、**アンケート調査**を実施しました。

◆ 調査の背景

台湾では、自転車先進国としてサイクリングに注力しており、台湾人の方には広域サイクリングルートに興味を持っていただけと考えました。

◆ 調査の結果

回答者は、**日本に訪れた回数**が**3回以上**の人が**9割を超えて**おり、**約3割**の人は**11回以上**と**熱心なリピーターが多い**状況でしたが、本県の広域サイクリングルートを見聞したことがある人は**1割にも満たず**、認知度は低い状況でした。

また、サイクリングの習慣に関する質問では**約7割の人がサイクリングの習慣がある**ほか、このうち、**約半数の人が「観光で自転車を使うことがある」と回答**しました。

SNSによる旅行の情報収集に関する質問(複数回答)では、それぞれ**約半数の人がFacebook・Instagram・YouTube**が役立ったと回答しました。

広域サイクリングルートを紹介するチラシを見せたうえで尋ねた質問では、**約6割の人が「美しいまち並みや文化を楽しみながら、水辺と名湯をめぐる」点に魅力を感じると回答**しました。

◆ 今後について

調査結果から、広域サイクリングルートの認知度は低い状況であることが明らかになりました。日本の良さを知っているであろうリピーター、かつ、自転車に乗る習慣がある**台湾人の方々にサイクリングと岩手の相性の良さ**をSNS等を活用しながら周知を図り、**国内外への認知拡大と観光振興に繋げていきます。**



▲ 調査時に使用したチラシ及びアンケート用紙



▲ アンケート調査の状況

■ 今後のサイクリング環境向上の取組等

サイクリングマップの公表

令和7年5月30日に**サイクリスト向けポケットマップ**について、知事から公表していただきました！！



▲ サイクリングマップ

周知の取組み

岩手を彩る夏の風物詩「**盛岡さんさ踊り**」にPR隊として初参加。岩手県立大学の学生と一緒にPR！！



▲ 参加状況

いわてサイクルステーションの整備

サイクリスト向けの休憩施設として、**いわてサイクルステーション**の登録を進めています(道の駅や飲食店などの既存施設を活用し、令和7年9月末時点で**95施設**を登録済)。



▲ ステッカー



▲ のぼり旗とサイクルラック

情報発信の取組み

岩手県ホームページ、SNS(X、Instagram)にて、サイクリングルートに関する情報を発信中です！！



▲ InstagramのQRコード、発信例

JR東海の地域創生プロジェクト 「浜名湖サイクリング」事業を共創支援

JR東海グループ
/ ADDIX



今度の休み、
私はチャレンジャーになる。(ゆるめの)

事業創造のノウハウと メディアIPを活用 浜名湖の地域創生プロジェクトを推進

浜名湖サイクリングは浜名湖エリアの関係観光協会、東海旅客鉄道株式会社（JR東海）によるサイクリングを起点とした観光による地域創生プロジェクト。株式会社ADDIXはレンタサイクルの拠点開発およびサービス提供に向けた立案の共創パートナーとして、構想策定から観光コンテンツ、クリエイティブの開発などプロジェクトを支援しています。



POINT 1

調査からサービス構想策定

- サイクリング有識者・インフルエンサーによる現地調査（資源発掘・ポテンシャルの見極め）
- ユーザーインサイト調査（現地モニター調査、Web調査、デプスインタビュー調査）
- 事業PoC（モニター調査と並行したレンタサイクル事業運営のPoC）
- 事業モデル、収益計画の立案・策定の支援
- レンタサイクル拠点のコンセプトおよび機能に関する企画立案

POINT 2

レンタル拠点のデザイン&店舗開発の監修

- トレーラーハウス内装設計の構想、イメージパースの作成
- 拠点の名称・ロゴ・内外装のデザイン制作
- レンタル自転車の選定とレンタル運用計画策定
- レンタサイクル予約サイトの整備



POINT 3

現地コンテンツ造成&クリエイティブ制作

- コース周辺の店舗、施設への送客支援のためのクーポン開発、「鍵みくじ」開発
- クーポン事務局の設置・運営
- プロモーションコンセプトの立案と各種制作（キーコピー、WEBサイト、動画、ポスター、マップ等）

鍵みくじ



浜名湖サイクリング
WEBサイトはこちら



サイクリングコース上でグルメ、観光が楽しめる「ゆるチャレ湯喫クーポン」と縁結びのお寺「鍾山寺」での「鍵みくじ」を開発。サイクリングサイトでも、目的意識を持って一定距離を走れるように設計、コンテンツIPとのコラボレーションで現地誘客を促進しています。

POINT 4

メディアIPを生かした告知

- 自転車メディア「Bicycle Club」の誌面、デジタルメディア「FUNQ」を使ったプロモーション



▲ Bicycle Club

▲ FUNQ

BROMPTON SLOW CYCLING TOURS

株式会社AWA-RE 代表取締役
榮高志

台湾16本の 自転車観光ルート

台湾交通部(MOTC)

路政・道路安全司 呉東凌 博士／司長
林炳松 参事

台湾交通部（交通運輸省）は、国内外の観光客に自転車観光活動への参加を促進するため、行政院の承認を得て、2019年10月1日より「自転車ルート整備及び多様なルート統合促進計画（2020-2023）」を開始いたしました。

本計画は、台湾全体のサイクリングネットワークの継続的な強化を目指すものであり、各所管機関の資源を統合し、県市地方政府と連携を深めています。

また、各地域の特徴をグループ化・分類することで、独自性のある自転車観光ルートを開発し、サイクリストにとってより多様で快適な旅行環境を提供しています。



台湾16本の自転車観光ルート

2010年より、交通部観光局は台湾サイクリングフェスティバルの推進に力を注いでまいりました（行政院により、2011年がフェスティバルの初年度と定められています）。2021年には、よりサイクリング観光に焦点を当て、「台湾サイクリングツーリズムフェスティバル」へと進化を遂げました。

2024年には、新たに 台湾KOMチャレンジ、フォルモサ900、台中サイクリングカーニバル、日月潭Come! BikeDayサイクリングカーニバル、ゆっくり走る縦谷ライド、東海岸馬到成功168、極限スロートラベル、大鵬湾ライトワンプイク、澎湖島巡遊サイクリングカーニバル(101Kサイクリングイベント)、シラヤ5クールなど、10を超える 魅力的なイベントが新たに加わりました。

これらのイベントは、世界中のサイクリング愛好者や地元ライダーの皆様を台湾にお迎えし、サイクリングの楽しさを存分に体験していただくとともに、各地域ならではの魅力的なローカルチャーを堪能していただけます。

さらに、時速15キロというゆったりとしたペースで台湾を再発見することができ、まさに「台湾でサイクリング、本当に美しい」という言葉通りの体験をお届けいたします。



極点
スロートーリズム